# 長久手町文化の家(仮称)建設のための
# ハード面の基本的整備概要

平成7(1995)年10月

長久手町＆長久手町文化の家(仮称)建設・運営委員会

# はじめに

平成６年12月に長久手町文化施設建設構想委員会によって『長久手町文化施設基本構想についての報告書』がまとめられ、報告書中「長久手町文化の家(仮称)」が提唱されました。翌２月、その構想に基づいて「長久手町文化の家(仮称)建築設計プロポーザル」を公開で行い、応募32案の中から最優秀設計案を選定、３月末、その案を長久手町文化の家(仮称)設計案として決定いたしました。

今年度４月から、プロポーザル最優秀案を基に、本格的に長久手町文化の家(仮称)基本設計を進めこの程ようやく基本設計を終わることができました。

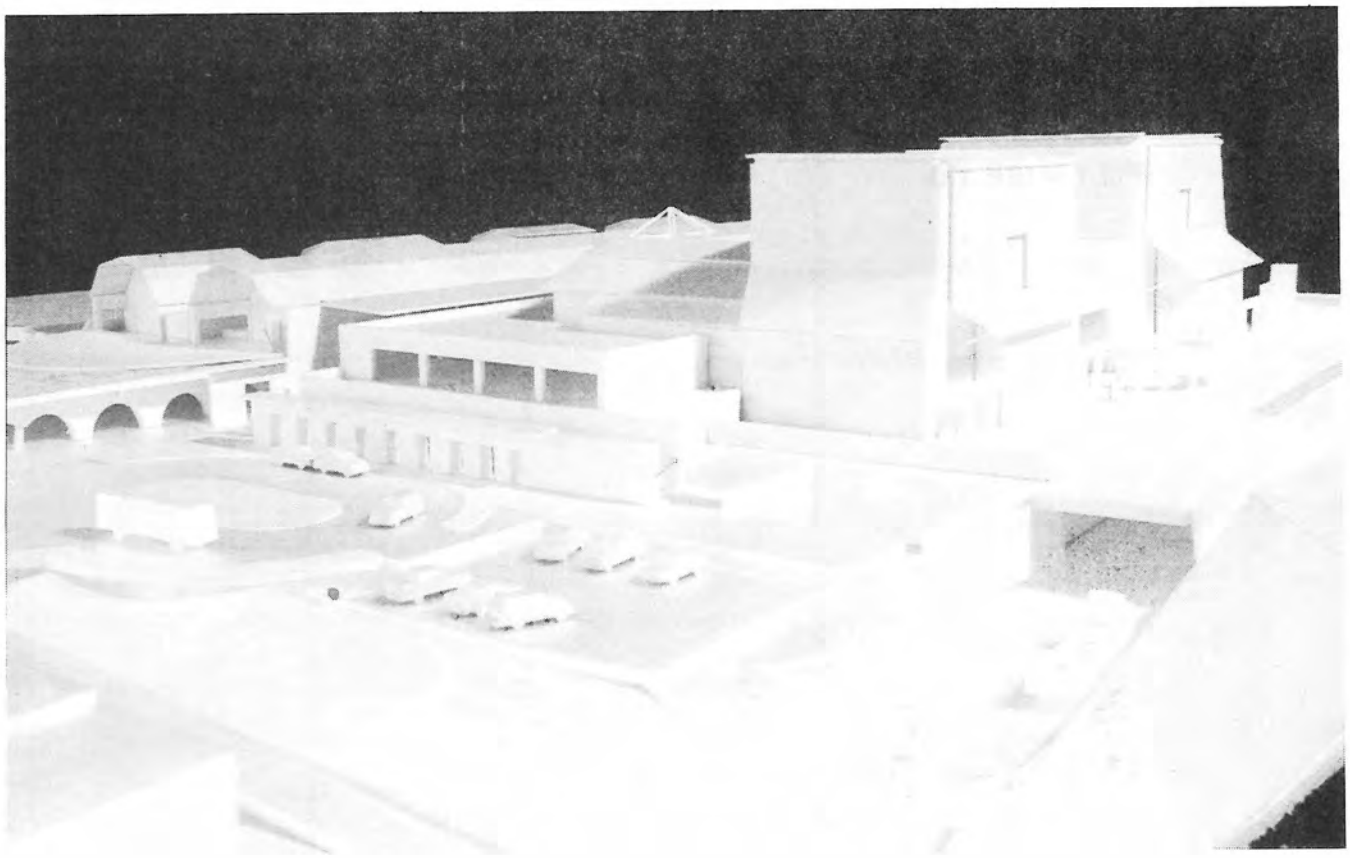
今回基本設計を終えた長久手町文化の家(仮称)は、舞台芸術に多様に対応できるユニークな形式の中規模ホールと、オーソドックスな形式で使いやすい規模の小ホールと、情報・交流機能や企画・制作の中枢機能をもつアートリビングから成る施設で、町民をはじめ利用者の芸術文化創造活動全体の振興発展に寄与するとともに、町の文化化に大きく寄与する施設です。

設計の途中、広報紙や公開展示の場で、文化の家構想や理念、施設のアウトライン等については何度となくお知らせしてまいりましたが、今回、基本設計の終了に当たり、現在までにまとまりました建物配置や平面計画図、それを基に製作しました建物模型の写真等を、冊子にまとめてお示しいたします。

なお、今後実施設計を進行いたしますが、実施設計終了までの過程におきましては、基本設計内容の変更を余儀なくされる場合もございます。その点につきまして予めご了承くださいますようお願い申し上げます。

平成７年10月１日

長久手町長　　加藤梅雄



# 「長久手町文化の家(仮称)建設のためのハード面の基本的整備概要」 目　次


口　　絵

はじめに

**1　建築計画**

**1　全体計画の基本的方針** …… 1
**2　建設敷地周辺の概要** …… 1
**3　計画概要** …… 2
**4　概算予算および財源計画** …… 2
**5　施設配置および動線計画** …… 3
全体に対して …… 3
アトリウム空間に対して …… 4
アートリビング空間に対して …… 4
ホールに対して …… 5
**6　個別の施設計画** …… 5
大ホール …… 5
小ホール …… 6
映像シアター、展示ギャラリー …… 7
舞踊室、音楽室 …… 8
ポピュラー音楽室、美術室、調理室 …… 9
生活工房、講義室、遊戯室 …… 10
会議室 …… 11
**7　建築音響計画** …… 11
大ホール …… 11
小ホール、ホワイエおよびアトリウム、彫刻テラス、アートリビング …… 12
**8　構造計画** …… 12
1　構造概要 …… 12
2　主体構造方式 …… 13
3　地盤および基礎 …… 13

**2　電気設備計画**

**1　工事概要** …… 14
電力引込設備工事、受変電設備工事、発電機設備工事、幹線設備工事 …… 14
動力設備工事、電灯コンセント設備工事、照明器具取付工事、電話設備工事 …… 15
インターホン設備工事、放送設備工事、テレビ共聴設備工事、運営用ＩＴＶ設備工事、管理用ＩＴＶ設備工事、時計設備工事、ＬＡＮその他弱電要配管設備工事
駐車場管制設備工事、火災報知設備工事 …… 16
ガス漏れ警報設備工事、避雷設備工事 …… 17
**2　電気設備関係諸元表** …… 18

**3　機械設備計画**

**1　設備計画の基本方針**・・・

# 1　建築計画

## 1　全体計画の基本方針

デザインコンセプト

Ⅰ　自然とともに暖かく文化をはぐくむ形
Ⅱ　非人間的な巨大スケールではなく、すこやかな小さな家のスケールをもった形
Ⅲ　香流川に向かって開かれた地形を生かす形
Ⅳ　個々の施設の機能を生かす形
Ⅴ　長久手町民全ての共有の家であることを表すシンボリックな形

長久手町文化の家(仮称)は、従来の画一定型化された文化施設では十分に満たされることのできない、町民の多様な文化芸術創造活動の発揚、要求に応える施設である。

これまでの公的文化会館が、人々の日常的な文化芸術活動や交流活動に寄与するものでなく、ともすれば、枠にはめられた既製の芸術の鑑賞活動に終始し、ハード(施設)優先、ソフト(事業、運営)軽視の傾向にあったという反省に立ち、長久手町文化の家(仮称)は、自らの文化を創造しようとする多くの人々の活動を幅広くサポートするための場になることを目標として建設される。特に、基本構想にうたわれた「アートリビング機能」は、いうなれば芸術文化創造センター的機能であり、この施設の大きな魅力と特徴を構成している。そのため、この機能をホール群への従属機能として扱うのではなく、むしろ中心を成す機能と把え、人々が気軽に寄りつけるスケールの快適環境をアートリビングに創出し、多様多彩な芸術文化創造活動が展開できるように計画する。

また、大小２つ計画されたホール部門は、プロフェッショナルにもアマチュアにも使いやすい劇場としての機能を満たした上でできる限りコンパクトにまとめ、斜面を生かす形で計画地にデザインする。デザインに際しては周辺環境を考慮し、全体が突出したボリュームとならないよう配慮する。

## 2　建設敷地周辺の概要

建設予定地は、愛知県長久手町の西部市街化区域内に位置し、主要敷地は南北約160m、東西約150m、面積約2.4haである。敷地は、北を流れる香流川に向かって、最大高低差11.5mの傾斜地を成している。

敷地南側には野田農公園と保育園用地、東側に幅員20mの町道があり、これが施設への主動線となる。西側には、幅員８mの都市計画街路を隔てて第１種住居専用地域に接しており、特にこのエリアの住居環境への配慮が必要となる。

(1)　地名・街区……長久手町大字長湫字野田農　長湫中部土地区画整理組合事業地内の下記地番

| | | | |
|---|---|---|---|
| 敷地該当地番 | 130街区２ | 130街区３ | 131街区１ |
| | 131街区５の１ | 131街区５の２ | 132街区１ |

(2)　敷地面積……全24,455.59㎡（主要敷地：23,002.18㎡）
(3)　用途地域……住居地域
(4)　許容建ぺい率…60％
(5)　許容容積率……200％

(6) 日影規制……住居地域・・・・・・・・・・・・・・4時間、2.5時間（測定基準面　4.0m）
第一種住居専用地域・・・・3時間、2時間（測定基準面　1.5m）
(7) 周辺道路……西側・・・・幅員8m道路（拡幅後11m幅員）
北側・・・・幅員3m緑道および幅員3m河川管理道路　全幅員6m
東側・・・・幅員4m歩行者専用道路　幅員20m町道
南側・・・・幅員4m緑道
(8) 緑 化 率……基準緑地　2,061㎡　　基準外緑地　5,082㎡
緑地計7,143㎡　≒　29.2%
＊長久手町宅地開発指導要綱による緑化の行政指導数値は、基準緑地6%
(9) 標　　高……64.8m～53.3m

## 3　計画概要

(1) 工事種別……新築
(2) 建物用途……文化施設
(3) 階　　数……地上3階、地下2階
(4) 高　　さ……最高の高さ　　22.198m
最高の軒の高さ　21.598m
(5) 建築面積……8,349.16㎡
(6) 延床面積……17,798.61㎡（内、駐車場3,894.85㎡）
(7) 各階面積……3階・・・・・・・・・・704.23㎡
2階・・・・・・・・3,218.73㎡
1階・・・・・・・・8,113.18㎡(内、駐車場3,590.76㎡)
地下1階・・・・3,579.35㎡(内、駐車場304.09㎡)
地下2階・・・・2,183.12㎡
(8) 実質建蔽率・実質容積率……(建)＝36.30%　(容)＝61.90%
(9) 構造・基礎……ＳＲＣ造、ＲＣ造およびＳ造　　直接基礎およびベタ基礎
(10) 工事期間・開館…24か月（平成8年3月～平成10年2月末）　平成10年夏開館予定
(11) 許容駐車台数……一般来客用302台
＊出演者用、職員、従業員、搬入車両、バス用等、別途30台分程度確保

## 4　概算予算および財源計画

［概要］
(1) 建設費概算……約80億円
(2) 財源……町費（一般会計、基金）、起債、国県補助金
＊　基金は、文化会館建設基金および公共施設建設整備基金の約32億円を、
起債は地域総合整備事業債および厚生福祉事業債の約30億円を充てる。
(3) 補助制度の活用…3制度を活用予定

| 補助金名称 | 金額(最高額) | 執行主体 | 本施設の対象エリア |
|---|---|---|---|
| a.公立文化社会教育施設―ジャンル別専用ホール―整備費補助金 | 約300百万円 | 文化庁 | 大ホール部分 |
| b.同上　県費補助金 | 約260百万円 | 愛知県教育委員会 | 大ホール部分 |

| | | | |
|---|---|---|---|
| c.魅力ある愛知づくり事業費補助金 | 約200百万円 | 愛知県 | ―――― アートリビング部分 |
| d.市町村勤労者福祉施設建設費補助金 | 約300百万円 | 愛知県 | ――― 小ホール、事務管理部分 |

## 5　施設配置および動線計画

長久手町文化の家(仮称)は、基本構想に定められた以下の諸部門から構成される。

| No. | スペース | 諸　　室 |
|---|---|---|
| 1 | ホール系スペース…… | 大小ホール、映像シアター、展示ギャラリー等 |
| 2 | 実習・練習系スペース…… | 音楽室、舞踊室、美術室、調理室等 |
| 3 | 情報・交流系スペース…… | 情報資料センター、パソコン室、ミーティング・AVコーナー、ブラウジングコーナー、リフレッシュスペース、遊戯室等 |
| 4 | 会議・集会系スペース…… | 和洋会議室、講義室等 |
| 5 | 企画創造中核スペース…… | 創造スタッフ室 |
| 6 | 安全管理、事務管理系スペース…… | 管理事務室、防災センター等 |

これら個々の施設を配置する上で、次の点を考慮した。

[全体に対して]

| 設計上の考慮点 | 具体的な計画 |
|---|---|
| (1) 建物の巨大ボリュームを感じさせない配置で、アメニティの高い施設 | 香流川へと向かう傾斜地を生かし、高いフライタワーをもつホール群を北側に、低層となるアートリビングゾーンを南側に配置するホールホワイエとアートリビングゾーンのメインフロアは、1層分の段差をとり、この間をアトリウムで結ぶ。なお、アトリウムのレベルには地下駐車場を設け、車での利用者の便を図る。<br>また、大ホールと小ホールの間には2層分の階高をもつ展示ギャラリーを設け、香流川に向かって彫刻テラスが広がるデザインを構成する。彫刻テラスは、できる限りの緑化を行い、香流川左岸のり面との一体化を図る。緑化された彫刻テラスを設けることで、フライタワーの巨大スケールからくる周囲環境への威圧感、圧迫感を和らげ、アメニティの高い施設とする。 |
| (2) 機能を分散しながらも全体として一体感を生み出す施設 | ホール系スペースを地下1階から1階までに、実習・練習系スペース、情報・交流系スペースを2階に、会議・集会系スペースを3階にというように、各機能を大きく階ごとに分け、個々の機能が最大限発揮されるようにする。<br>また、それらの間をアトリウムや吹抜空間等でつなぐことによって、建物全体に一体感が生まれるようにする。 |
| (3) 建物の四面に美しく親 | 東西南北のどちらに対しても親しみのある美しい表情をつくり、 |

| | |
|---|---|
| しみやすい顔をもつ施設 | どこからでも気持ちよくアクセスできる施設とする。 |
| (4) 安全な施設 | 地下1階から2階までの3フロアを避難階とすることで、防災上の安全性を確保する。 |
| (5) 弱者にやさしい施設 | 身体障害者や高齢者等が車椅子等で、地下1階から3階までの全ての部屋にスムーズにアクセスできるよう計画する。 |
| (6) 職員等の執務動線が合理的、効率的に計画され気持ちよく働ける施設 | 管理運営者や施設内で働く従業員等が、良好な環境で執務できると同時に、他のフロアや諸室へ速やかにアクセスできる動線計画とする。 |
| (7) 歩行者動線、車両動線を分離する施設 | 車両の出入りに対して、歩行者が安全にアクセスできる施設とする。 |
| (8) 公演終了時の客はけに安全、迅速に対応できる施設 | ホールの公演終了時の車両のはける時間を短縮するため、地下駐車場については、入口1か所、出口2か所とする。 |

[アトリウム空間に対して]

| 設計上の考慮点 | 具体的な計画 |
|---|---|
| (1) アクセス機能空間 | アトリウム空間は2層の吹抜空間を生かし、1～2か所のブリッジと1か所のスロープを配し、南のアートリビング棟と、北のホール棟とを立体的に結ぶデザインとする。 |
| (2) ドラマティック空間 | 建物の東西軸のアトリウムと、南北軸のブロードアイルの交点は集う人々の交流や出会いを象徴するような、十字路特有のドラマ性をもつ空間を演出する。 |
| (3) 核となる空間 | 文化の家(仮称)の核となる空間であり、人々が常に行き来する空間となるよう、アトリウム南北には大人数を収容するスペースを集中させる。 |

[アートリビング空間に対して]

| 設計上の考慮点 | 具体的な計画 |
|---|---|
| (1) 機能集中と機能間分離 | 実習系スペースを西側に、情報・交流系スペースを東側に、会議室スペースを階上に配し、それぞれの機能を分離する。それら分散した機能を、中央部に配された創造スタッフ室が統括し、町民の文化活動のキーステーションとなる。 |
| (2) 自然の光と風が吹き抜 | 南側の広場やアトリウムに面して、自然の光と風が吹き抜ける開 |

| | |
|---|---|
| ける開放的空間 | 放的な計画とし、明るく開かれた施設イメージを演出するとともに中間期の空調ランニングコストの削減を図る。 |

[ホールに対して]

| 設計上の考慮点 | 具体的な計画 |
|---|---|
| (1) 合目的的に動線分離 | 観客の動線、公演者および管理者の動線を分離する。 |
| (2) 大小ホール共用スペースの有効利用 | 楽屋や備品庫等、それぞれのホールに共用できるスペースをできるだけまとめ、限りある面積を効率よく利用する。 |
| (3) 楽屋レベル | 楽屋レベルの動線を考える上においては、楽屋口を大小ホールとも共通とし、両ホールの利用者の交流を生むと同時に、技術スタッフのためのスペースの一元化を図る。 |
| (4) 道具類の直接搬入 | 大道具類等を搬入口から舞台レベルへ、直接搬入できるものとする。 |
| (5) 音響環境 | 音響上の理由から、ホールおよび練習系の部屋どうしを上下に重ねないこととする。 |
| (6) 楽器庫・備品庫 | 舞台レベルに十分な倉庫や収蔵スペースを確保する。 |
| (7) 作業場 | 大道具・小道具づくり、背景等の作画、衣装づくり等、舞台周りに関連する作業を行うことのできるスペースを、舞台レベルで確保する。 |

## 6 個別の施設計画

[大ホール]

| 計画の基本 | 説明および計画上の配慮 |
|---|---|
| (1) 幅広い目的に対応 | 大ホールは、オーケストラコンサート、声楽コンサート、室内オペラ等のクラシック音楽系のイベントから、電気音響を使用したポピュラー系コンサート、演劇、舞踊、ブラスバンドコンサート、集会まで、幅広い利用目的に対応するホールとする。 |
| (2) 舞台および客席の可変機構 | 舞台のみならず、客席の形態を変えることにより、上記の利用目的に最もふさわしい空間を構成する。<br>その代表的な形として、次の5つが上げられる。<br>i アリーナステージ形式（660席程度）<br>ii スラストステージ形式（580席程度） |

| | |
|---|---|
| | iii　プロセニアムステージ形式（580席程度）<br>iv　オーケストラコンサート形式（800席程度）<br>v　オープンステージ形式（660席程度） |
| (3) 音響可変機構 | 上記の利用目的に合わせた音響にするため、建築音響は500Hzで、空席時の残響1.4秒、満席時の残響1.2秒の設計とする。 |
| (4) 走行式プロセニアム | 舞台部には、走行式プロセニアムを備え、最後部に納められた場合にはワンルーム形式のホールとなる。<br>客席部と舞台部のエリアが固定されていない、こうした形式のホールは我が国にこれまで無く、これからの新しいホールの形として大きな意味をもつ。 |
| (5) 臨場感のある客席配置 | 客席は、１階に平土間席と強い傾斜を持つ段状席、２階にバルコニー席を設ける。これらを基本的な視線条件を満たした上で、臨場感あふれる場を構成する。 |
| (6) 過剰なメカニックイメージの排除 | 音響や照明等の機能は重視するが、それらの仕掛けや機構等のメカニックイメージが、必要以上に観客の目にふれることのないよう意匠的に配慮し、暖かく心地良いホールとする。 |
| (7) 作業場 | 大ホールの舞台に近接し、約150㎡程度の作業場を設ける。ここには、簡単な木工、画工、染織等を行える設備を整え、町民参加の舞台美術ワークショップ等が行えるものとする。 |
| (8) コーディネートされた内部仕上 | 客席床：フローリング仕上<br>舞台床：檜集成材　ＯＳ　クリアラッカー仕上<br>壁：ＦＧボード張　ツキ板ＯＳ仕上<br>　　ＦＧボード張　ヴェネチアン・スタッコ仕上<br>天井ＦＧボード張　ＥＰ仕上 |

［小ホール］

| 計 画 の 基 本 | 説明および計画上の配慮 |
|---|---|
| (1) 使いやすい規模 | 小ホールは、演劇、舞踊公演、ピアノ・室内楽コンサート、日本舞踊等、アマチュアの利用を主目的とする使いやすい規模のホールとする。 |
| (2) オーソドックスな固定席 | 24尺×６間（ＰＨ×ＰＷ）のプロセニアム開口をもつ、シンプルでオーソドックスな固定席をもつホール。 |
| (3) 理想的なアクティングエリア | この規模としては理想的な広さ、高さ（６間×６間のアクティングエリア、60尺のすのこ高）を確保する。コンサート系イベントには、舞台内に大規模な音響反射板を降ろすことで対応する。 |

| | |
|---|---|
| | 舞台内に常時、大規模な音響反射板を持たないことで、演劇・舞踊系公演とコンサート系イベント間にある矛盾を回避し、さらに建築音響的に十分な性能をもたせるものとする。 |
| (4) 可変舞台とワンスロープの客席 | 客席は300席が基本席数であるが、前舞台を使用した場合は約220席となる。ワンスロープの客席の平土間席とそれを取り囲むバルコニー席をつくり、親しみやすいスケールの中で、観客どうしがお互いに親しく交歓しあえるようなホール空間とする。 |
| (5) 晴れやかな空間 | 意匠的には、暗いブラックボックス的雰囲気の小ホールではなく明るく晴れやかな感覚に満ちた感覚のものにする。音響、照明の機能や機器を必要以上に観客に表すことなく、あくまでも演者の存在を引き立てるものとして扱うものとする。 |
| (6) コーディネートされた内部仕上 | 客席下：フローリング仕上げ<br>舞台下：檜集成材　ナチュラル仕上げ<br>壁：ＦＧボード張　ツキ板ＯＳ仕上げ<br>天井：ＦＧボード張　ＥＰ仕上げ |

[映像シアター]

| 計画の基本 | 説明および計画上の配慮 |
|---|---|
| (1) 鑑賞を主目的 | 映像ホールは100名程度を収容する、フィルムやビデオ等の映像芸術の鑑賞を主目的とする。 |
| (2) フロント映写 | フィルム、ビデオともフロント映写とする。 |
| (3) 視線条件の整備 | どの席からも良好な映像が楽しめるよう、客席には緩やかな勾配をつける。 |
| (4) 鑑賞以外の目的対応 | 座席部分に小さなライティングテーブルを設け、講演会、シンポジウム等の小集会系利用への便を図る。<br>また、基本的な情報通信システムを組み込み、インターネット通信等が大型画面を通して、グループで行えるようにする。 |

[展示ギャラリー]

| 計画の基本 | 説明および計画上の配慮 |
|---|---|
| (1) 性質の異なる二つのギャラリー | 自然光の入る展示ギャラリー１と、人工照明による展示ギャラリー２の２空間を設ける。 |
| (2) 展示ギャラリー１ | ・アトリウムと一体で利用するものとし、主として大画面をもつ作品、大きな彫刻作品、インスタレーション等を想定する。 |

| | |
|---|---|
| | ・このギャラリーは、香流川に面するテラスにつながる自然光豊かな空間であり、また2階アートリビングにスロープで連続する動線部になるパブリックな空間であるので、そうした空間にふさわしい展示を行うものとする。<br>・ホールのホワイエに連続する空間であるので、公演と関連する展示にも利用しやすい。 |
| (3) 展示ギャラリー2 | 比較的小規模な作品、自然光に弱い作品（版画、ビデオアート、キネテックアート等）、照明による演出を必要とする作品等の展示を想定する。個人作家による個展会場や、グループ展会場として利用できるようにする。 |
| (4) フレキシブルな展示空間 | どちらの空間も、壁面や床面、天井面から自由に作品を固定できる仕上げとし、展示品の重量も考慮し、堅牢な床構造とする。 |

[舞踊室]

| 計画の基本 | 説明および計画上の配慮 |
|---|---|
| (1) 幅広いパフォーマンスに対応 | 現代劇、日本舞踊、バレエ、演劇等の練習の場となるため、床の堅さは中程度とし、バレエ練習時にはリノリウムのシート等で対応する。室内には十分な広さと天井高を確保する。 |
| (2) 光の制御 | 室内はあまり暗い部屋とせず、必要に応じて制御された自然光を採り入れるものとする。 |
| (3) 付属空間 | 室内に更衣の部屋と、備品庫を設ける。 |
| (4) 住環境への配慮 | 西側の住宅を配慮し、外部へ音が漏れないようにする。 |

[音楽室]

| 計画の基本 | 説明および計画上の配慮 |
|---|---|
| (1) 音響条件の整備 | クラシック系の音楽専用の練習室であり、音響条件（NC値、残響時間、残響特性、フラッターエコーのないこと、他室との間の遮音性等）を重視する。 |
| (2) 付属空間 | 室内にピアノ庫、譜面台や椅子等を収納するための備品庫を設ける。 |
| (3) 残響調整 | カーテン等により、簡単な残響調整を行う。 |
| (4) 明るい色調の室内 | 室内は明るい色調とし、必要に応じて制御された自然光を採り入れるものとする。 |

| | |
|---|---|
| | また、練習のみでなく、ホームコンサートや発表会等、小規模なコンサートにも利用できるようにする。 |

[ポピュラー音楽室]

| 計画の基本 | 説明および計画上の配慮 |
|---|---|
| (1) スタジオ的空間 | ロックバンドや電気音響を使った音楽のための練習室であり、デッドな音響特性をもったスタジオ的な空間とする。 |
| (2) 遮音 | 他室への音漏れを避けるため、浮き構造の内装とする。 |
| (3) 閉鎖・閉所感の解消 | 密室の息苦しさを和らげるため、外部への二重窓を設ける。 |

[美術室]

| 計画の基本 | 説明および計画上の配慮 |
|---|---|
| (1) 利用者のアトリエ | 絵画、彫刻、陶芸、染織等の製作アトリエとする。 |
| (2) 十分なスペース | 十分な広さと天井高を確保し、連続する外部に工作テラスをもつ。 |
| (3) 明るく清潔な部屋 | 北側からの制御された自然光を採り入れ、明るく清潔感のある部屋とする。 |
| (4) 環境への配慮 | 排気水処理および換気に注意し、他室へ臭いが漏れないようにする。 |
| (5) 付属空間 | 室内に美術準備室、染色室、陶芸準備室を設ける。 |

[調理室]

| 計画の基本 | 説明および計画上の配慮 |
|---|---|
| (1) ゆとりのスペース | 20名程度が、同時に調理・料理実習できるだけでなく、試食をゆったりと楽しめるペースを確保する。 |
| (2) 小会食の演出 | 料理講習とともに、小規模なパーティやグループ会食等が行えるような部屋とする。 |
| (3) 清潔な部屋 | 自然光を採り入れ、明るく清潔感あふれる部屋とする。 |
| (4) 環境への配慮 | 排気水処理および換気に注意し他室へ臭いが漏れないようにする |
| (5) 付属空間 | 室内に準備室、食器、鍋釜、調理器具等の収蔵スペースを確保す |

| | |
|---|---|
| | る。 |

[生活工房]

| 計 画 の 基 本 | 説明および計画上の配慮 |
|---|---|
| (1) 生活文化型活動に対応 | 洋裁、和裁、手芸、革細工、機織り、フラワーアレンジ等、生活に密着した趣味のサークル活動を行う場とする。 |
| (2) くつろげる作業空間 | 美術室のような専門的な作業空間ではなく、できる限り暖かい雰囲気の中で、くつろぎながら趣味活動ができる部屋とする。また、高齢者等がくつろいで趣味活動できるよう、部分的に畳床等で仕上げる。 |
| (3) 付属設備 | シンク、給湯設備、収納倉庫等を設ける。 |

[講義室]

| 計 画 の 基 本 | 説明および計画上の配慮 |
|---|---|
| (1) 整備グレードの異なる二つの講義室 | 2室とも、20～30名程度を対象に講義を行える部屋とする。<br>1室は、通常の講義室の整備グレードであるが、他の1室はパソコン実習教室等、情報通信系の講座が開講できるよう、基本的なインテリジェント化をする。 |
| (2) シンプルな空間 | 教室型、コ字型、ロ字型、円周型等、講義内容に合わせて机配置ができるよう、椅子や机は置き式とし、多目的に使えるシンプルな部屋とする。 |
| (3) 明るい部屋 | 制御された自然光を採り入れた、明るく快適な部屋とする。 |
| (4) 簡単なＡＶ機器使用に対応 | 特別な音響照明装置等は使わないが、スライドやＯＨＰ等の映写ができるような対応を考える。 |
| (5) 付属空間 | 備品収蔵スペース |

[遊戯室]

| 計 画 の 基 本 | 説明および計画上の配慮 |
|---|---|
| (1) 変化に富んだまぁ～るい空間 | 乳幼児およびその保護者の利用が主体となる空間なので、できるだけ楽しい部屋になるよう変化に富む丸い部屋とする。 |
| (2) 清潔感あふれる空間 | 乳児のための調乳・授乳、おむつ交換、排泄、遊戯等に利用する部屋となるので、清潔度が常に高く保てるような室の仕上げとする。 |

| | |
|---|---|
| (3) 付属設備 | 室内に給湯器、シンク、洗い場、子供用ベッド、幼児用トイレ等を設備し、収蔵スペースを設ける。 |

[会議室]

| 計画の基本 | 説明および計画上の配慮 |
|---|---|
| (1) 釣り殿風の静かな会議空間 | アートリビングの他のスペース（練習・実習系スペース、交流・情報系スペース）とは隔離した上階に、釣り殿のようなデザインの静かな会議室をつくる。 |
| (2) タイプの異なる2種の会議室 | 会議目的に合わせて空間タイプが選択できるよう、机・椅子対応の洋室と、畳床の座敷仕上げの和室の2タイプの会議室とする。 |
| (3) 利用人数に応じたフレキシブルな空間可変 | 洋室3室、和室2室とするが、間仕切や障子等を外したり、セットしたりすることによって、人数に応じた広さに合わせられる部屋とする。和室には広縁、廊下等を配し多様な利用を可能にする。 |
| (4) 和室の多目的利用 | 和室に炉を切ったり、水屋を設けたりすることによって茶室利用を可能にする。また、着付け、生け花、御作法、囲碁将棋等、和室ならではの幅広い活動に対応できるような部屋とする。 |

## 7 建築音響計画

＊大ホール

(1) 大ホールについては、オーケストラコンサート等のクラシック音楽系催事と、演劇系の催事の両方を満たすオペラハウス並の響きとする（500Hzで1.4～1.3秒）。

(2) 1階客席背後面と2階バルコニー席の客席背後面を、拡散反射性(一部吸音性)とし、演者、奏者からの音が有効に客席に伝わるとともに、円形の客席配置に特有の問題である音の焦点の形成を防止する。また、この現象を緩和する意味でも、真円ではなく、楕円を基本とした多角形の客席とする。

(3) 天井面は緩やかな曲面とし、床面からの音の拡散を図る。

(4) オーケストラ等の催事の場合の使い方としては、フライタワー内に格納された天井反射板と後ろ舞台に置かれた正面反射板が定位置にセットされ、舞台部の吸音効果をなくすとともに、客席空間と自然につながるワンルーム型音響空間をつくり出す。この場合、さらに舞台脇に反射壁面をつけることで、一層コンサートホールとしての性能が期待されるが、これについては備品の可動式反射板で対応する。

一方、演劇型の催事においては、可動プロセニムが前方に移動するとともに、天井内に格納されたポータルブリッジが降り、全体を二つの音響空間に分けるものとする。フライタワー内部、後舞台を吸音性とすることで、舞台部をデッドな響きとする。

(5) 空調の許容騒音値は、ＮＣ－20とする。

＊小ホール

(1) 小ホールは、固定プロセニアムをもつため、舞台部と客席部は異なる音響特性とする。また

小ホールは、日本舞踊や演劇を中心とするパフォーマンスを中心として使われるほか、ピアノコンサートも使用頻度が予想される。従って、全くの演劇専用ホールとは少しライブという程度の響きが望ましい。

(2) 平面形状が素直な長方形であるため、大きな音響上の課題はない。演者、奏者のセリフ、あるいは発する音のエネルギーが、できるだけ明瞭かつ有効に使われるように、特に側壁のデザインに配慮を行う。

(3) 空調の許容騒音値は、ＮＣ－20とする。

(4) 楽屋レベルで大ホールにおとの漏れがないよう、遮音に配慮する。

＊ホワイエおよびアトリウム、彫刻テラス

(1) アトリウムから生じる音をホールに伝えないために、ホワイエはできるだけ吸音性を高めるように心掛ける。また、アトリウムそのものも大空間特有の過剰な響きとならないよう、吸音を心掛ける。

(2) 彫刻テラスから躯体に伝わる歩行者の影響を考え、適切な処理を行う。

＊アートリビング

(1) 音楽室、舞踊室、ポピュラー音楽室は、それぞれ音の影響を避けるため、空間的に隣合わない平面計画とする。また、外部の音の進入を防ぐため、開口部は二重扉、二重窓とする。

(2) 音楽室、舞踊室、ポピュラー音楽室の諸室は、空調の許容騒音値はＮＣ－20とする。

## 8 構造計画

1 構造概要

この建物の平面は、ほぼ90m×90mの正方形で、大ホール、小ホールとアートリビング施設群で構成されていて、互いに構造的には独立しており、中央のアトリウムで機能的に結ばれている。

［大ホール］

大ホールは、最大800席の多目的型ホールで左右の袖舞台、その周囲に楽屋を配した構成となっている。客席と舞台は、一体となった約30m×35mの箱型の空間で、壁面を鉄筋コンクリート造屋根を鉄骨造で計画する。

［小ホール］

小ホールは300席の固定席で大ホールと並列に配置されているが、互いに展示ギャラリー部分によって分離されている。構造方式は大ホールと同様である。

［アートリビング］

アートリビング施設群は、各種の文化サークル活動のための比較的小さな部屋で構成され、中廊下をはさんで２列に連続して配置されている。そのほとんどが平屋であるが、一部２階建(建物全体からすると３階部分に相当)となっている。廊下の5.8mグリッドの柱によって各室の鉄骨屋根を受けるとともに、地震力にも抵抗する。また、地下に駐車場を計画する。

［アトリウム］

アトリウム部分は、上記３施設の中間に位置し、全体のロビーの機能をもっている。この下部に設備機械室を計画する。

2　主体構造方式

［全体］

文化の家(仮称)の建物群は、大小ホールの客席と舞台とを除くと、比較的低い建物で、スパンの大きいものは少ない。従って、鉄筋コンクリート造ラーメン構造とする。

建物全体で、90m×90mの大建築であることと、用途上各ホールの遮音性能を高める目的で、各施設群をエキスパンションジョイントにより分離して、各々を独立した構造体とするが、地下部分の駐車場、設備機械室および舞台奈落は一体構造とし、剛性の高い構造とする。

［ホール］

大小のホールは用途上壁が多く、これを耐震壁として利用し、強度および剛性の高い構造とする。

ホールの屋根はスパン20～30mと大きく、また、客席床面より15～20mと高い位置にあることから鉄骨造の梁を架け、鋼板捨て型枠の鉄筋コンクリート床構造とする。

［アートリビング・アトリウム］

これらの建物群の屋根については、用途および形状から鉄骨造とし、軽量化、経済化を図る。

＊耐震設計方針

耐震設計に当たっては、Ｈ７の阪神大震災の経験を基に、十分に余裕のある設計とする。地下階の設計において、地下駐車場、設備機械室、舞台奈落を一体構造としているため、地上階の耐震設計とは別に、地下階全体の耐震設計を行う。

なお、地下駐車場から舞台奈落に向けて、部分地下となっているため地震力の取扱については十分に注意して設計を行う。

3　地盤および基礎

［支持層］

敷地内12ケ所の詳細な地質調査の結果、この敷地の地盤は、新生代第三期鮮新世の東海層群矢田川累層が厚く分布しており、北側はその上に造成による盛土となっている。

矢田川累層(T)は、支持層として期待できる安定した地層であるが、この層の上部(Ts,Tg,Tp)は、Ｎ値６～46と不安定であるため、その下部の粘土層(Tc)が固結した最も安定した層であるので、本設計に当ってはこの層を支持層に採用する。

Tc層は、南側では、G.L—0.5～1.0mで浅いが北側では、G.L—７～８ｍと傾斜しており、盛土層が厚く、構造計画上重要な問題である。

［基礎］

基礎の選定に当っては、安全生と経済性を考慮に入れて慎重に検討を行った結果、Tc層を支持層とする直接基礎を採用する。この際、前述の北側の深い部分については、楽屋の下がTc層まで３～５ｍの盛土が残ってしまい、杭又は地盤改良が必要となるが、異種の基礎による不同沈下の恐れが考えられる。これを解決するために設備機械室の一部を移動して、舞台奈落と同一のレベルとし、Tc層に直接基礎として支持する。

# 2　電気設備計画

## 1　工事概要

［電力引込設備工事］

・　引き込みは南側、あるいは西側の電柱より架空引き込みとし、第１柱以降は地下２階電気室まで地中配管配線とする。

・　第１柱には、方向性付きガス遮断開閉器を取りつけるものとする。

・　中部電力岩作変電所から供電するが、同変電所の過去３年間の事故による停電回数が３回のため本線、予備線の２回線受電は採り入れない方向で検討。

＜参考＞　岩作変電所事故停電実績（H4.7.1～H7.6.30）

| 故障日時 | 影響時間 | 原　因 | 状　況 |
|---|---|---|---|
| H5.6.10 | ２分 | 落雷（自家用構内） | 当該客のみ56分停止 |
| H6.4.25 | ２分 | 電柱折損（車衝突） | 当該変圧器柱のみ33分停止 |
| H6.4.29 | ２分 | 特高停止（第三者不安全行為） | 岩作変電所停電（19分停止）<br>変電所から順次送電 |

［受変電設備工事］

・　受変電設備は、経済性、安全性、保守の容易性を考慮し、屋内キュービクル型とする。力率改善は、Ｂ１Ｆ主電気室の高圧部分に取り付けられたコンデンサーにて行い、タイマーおよび力率継電器による制御を行うものとする。

　また、将来の要領変更に対応できるものとする。

・　Ｂ２Ｆ電気室、３階大ホール調光機械室、２階小ホール調光機械室を電気室とする。

［発電機設備工事］

・　6.6ＫＶ　750ＫＶＡ　ディーゼル式　水冷式　燃料(Ａ重油　原料としてボイラーと合わせる)

非常用電源として取り入れるが、災害時の保安用電源の確保の意味で、10時間以上運転出来るものとする。

対象負荷
- 防災用
  - 屋内消火栓
  - スプリンクラーポンプ
  - 排煙機
  - 発電機用給排気ファン等
  - 非常照明
- 保守用
  - ポンプ類
  - ＥＬＶ
  - 保安照明

［幹線設備工事］

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 一般電灯 | １Φ３Ｗ | 210／105Ｖ | ＣＡＴケーブル | ＋　ケーブルラック |
| 一般動力 | ３Φ３Ｗ | 210Ｖ | ＣＡＴケーブル | ＋　ケーブルラック |
| 非常電灯 | １Φ２Ｗ | 105Ｖ | ＥＰケーブル | ＋　ケーブルラック |
| 非常動力 | ３Φ３Ｗ | 210Ｖ | ＥＰケーブル | ＋　ケーブルラック |

＊　ケーブルラックの防火区画貫通はＢＣＪ―防災評定品とする。

| 型　式 | 鉛蓄電池　　ＨＳ型　　54セル　　400ＡＨ程度 |
|---|---|
| | 屋内キュービクル型　　シリコンドロッパー　　30Ａ程度 |

［動力設備工事］

一般動力、非常動力の電源供給を行う。

機器の停電、監視、グラフィックパネル等は別途空調工事とする。

＜参考＞　機器の点数一覧(案)

| 各部所 | 操作 | 監視 | 警報 |
|---|---|---|---|
| Ｂ２Ｆ電気室 | ＶＣＢ　×　10 | 各機器　30点 | 各機器30点 |
| ２Ｆ小ホール調光機械室 | ＶＣＢ　×　1 | 5 | 5点 |
| ３Ｆ大ホール調光機械室 | ＶＣＢ　×　1 | 5 | 5点 |
| 分電盤　主開閉器 | | | ＥＬＢ30点 |
| 調光盤　主開閉器 | | | ＥＬＢ 5点 |
| 発電機 | | 状態　 2点 | －　5点 |
| 蓄電機 | | | 5点 |
| 予備 | 3点 | 8点 | 15点 |
| 合計 | 15点 | 50点 | 100点 |

［電灯コンセント設備工事］

・　二重天井内部……ＶＶＦケーブルころがし
　　コンクリート打込み部……ＩＶ　＋　ＣＤ管
　　露出部……ＩＶ　＋　ねじなし電線管
　　軽鉄間仕切内……ＶＶＦケーブルを固定
　　（上記は弱電にも共通）
・　楽屋等にはドライヤーコンセント用分電盤を取付け、持込み品の機器の漏電を最小限に抑える。
・　各室の一般スイッチはＬＥＤランプ（ホタルランプ）付きとする。
・　スイッチング系統図を別途作成する。

［照明器具取付工事］

意匠的、経済的に有意義な器具を選定し、又、それはメンテナンス、省エネ性の面からみても、合致しているものとする。

また、防災上の面から、最終避難口には、誘導音、フラッシュランプ付き誘導灯を採用することとし、音響上の配慮から、インバーター安定器の採用、吊りボルトのゴムブッシングの採用を行うこととする。

［電話設備工事］

外線10～50回線、内線200～300回線、交換機は電子交換機とする。事務所等は、多機能電話機とし、

ホール内はフラッシュ付きとする。　保守係には携帯電話機を若干見込む。

［インターホン設備工事］
保守係の内線電話として、相互式の内線電話を取り付ける。
また、夜間受付用、ＥＬＶインターホンを防災センターに取り付ける。

［放送設備工事］
定格出力1,400W程度、回線数80～100回線の非常、業務兼用ＡＭＰを防災センターに設置する。そこにはＢＧＭ等の不架機能をもたせる。

［テレビ共聴設備工事］
ＵＨＦ，ＶＨＦ，ＦＭ，ＢＳ，ＣＳ放送が、共視聴できるよう、端子を取り付ける。また、自主放送が将来できるよう、ルートや電源等を考慮する。

［運営用ＩＴＶ設備工事］
客席、舞台、ホワイエ等にカメラを取付け、主催者事務所、楽屋等で、モニター＋音声が確認できるようにする。
また、テレビ共聴設備と合わせて相方向式とし、モニター側で選局するシステムも考慮する。

［管理用ＩＴＶ設備工事］
アトリウム、展示ギャラリー、駐車場、電気室、機械室等にモノクロ防犯カメラを取り付け、防災センターや事務室でチェックや録画できるようにする。

［時計設備工事］
防災センターに親時計を設け、各所に子時計を取り付ける。子時計は意匠上、機能上からみて有効なものを選ぶ。
音響的に配慮する場所には、指針が動くときの音が出ないタイプのものを選ぶ。

［ＬＡＮ、その他弱電用配管設備工事］
- 調整室、調光室、技術スタッフ室、事務室等をパソコンで結び、館側スタッフが何処にいても対応できるよう配管を行う。
- ホール内に難聴者、同時通訳装置が取り付けられるよう、椅子の下にアンテナ線を施す。
- 自主公演、催し物、アートリビング内の稽古風景がテレビ局により送信できるようルートを確保する。
- 機械警備用配管を考慮する。
- 総合案内板がインフォメーションに取り付けられるよう、事務室から配管を施す。

［駐車場管制設備工事］
地下駐車場の空・満車の別、あるいは空車スペース等の表示に迅速に対応できるよう考慮する。
また、公演がハネた時など、一時的に混雑することを考え、劇場から出る車の流れをスムーズにするため、地下駐車場内に方向サイン等の電光表示を考え設計に当たる。

［火災報知設備］
防災センターに、平面地図式のＰ型受信機を取り付け、見やすく表現する。また、従来感知器が取り付けられなかった20m以上の高所にも、炎感知器等を取り付ける。

［ガス漏れ警報設備工事］

レストラン厨房、熱源機械室等にはガス漏れ検知器を取り付け、防災センターにて確認できるようにする。

［避雷設備工事］

建築基準法上20m以上の部分には避雷設備を取り付ける。

また、特殊音響用設置等（設置抵抗値が厳しい数値目標）もこの工事に含む。

＊電気設備関係諸元表

別表　1/6～6/6に示すとおり。

諸元表

（1／6）

| ゾーン | 階 | 室名称 | 照明 | | コンセント | | 電源 | 電話 | インターホン | | 放送 | | テレビ端子 | | 時計 | 監視カメラ | | その他 | 運営用ITV | | プラットループ | インカム | | キュー | | 舞台音響 | その他 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 照度 | 点滅場所 | 一般 | 特殊 | | | 保守 | 夜間 | 一般 | 非常 | 一般 | CS | | モニター | カメラ | | カメラ | モニター | アンテナ | マイク | 受口 | 機器 | 押釦 | ランプ | スピーカー | |
| 大ホール | B2 | 奈落 | 150 | 監督卓 | ○ | 専用 | | | | | | ○ | | | | | | | ○ | ○ | | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| | B1 | 舞台 | 300 | 監督卓 | ○ | | | | | | ○ | ○ | | | ○ | | | | | | | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | NHK対応 |
| | | | (逃明り) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 後舞台 | 300 | 監督卓 | ○ | | 1φ,3φ | ○ | | | ○ | ○ | | | ○ | | | | ○ | ○ | | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| | | | (逃明り) | | | | | | | | | | | | | | | | 移動 | 移動 | | | | | | | | |
| | | 楽屋1～5 | 500 | 手元 | ○ | ドライヤー | | ○ | | | ○ | ○ | | | ○ | | | | | ○ | | | | | | | ○ | |
| | | 搬入口 | 300 | 手元 | ○ | | | ○ | | ○ | | ○ | | | | | | 投光器 | ○ | | | | | | | | | |
| | | シャワー，WC | 150 | 手元 | | | | | | | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | WC | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 楽屋通路（上，下） | 150 | 監督卓 | ○ | | | | | | ○ | ○ | | | | | | | | ○ | | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| | | | (調光) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | ラウンジ | 300 | 手元 | ○ | 自販機 | | | | | ○ | ○ | | | ○ | | | | | ○ | | | | | | | ○ | |
| | | 湯沸室 | 150 | 手元 | ○ | ポット | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 共用楽屋6～8 | 500 | 手元 | ○ | ドライヤー | | ○ | | | ○ | ○ | | | ○ | | | | | ○ | | | | | | | ○ | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 小，大ホール | | | | | | | 小，大ホール | |
| | | 技術職員控室 | 500 | 手元 | ○ | | | ○ | | | ○ | ○ | | | ○ | | | LAN | | ○ | | | | | | | ○ | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 小，大ホール | | | | | | | 小，大ホール | |
| | | ピアノ庫 | 150 | 手元 | ○ | | | | | | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | シャワー，WC | 150 | 手元 | | | | | | | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | WC | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | ラウンジ | 300 | 手元 | ○ | 自販機 | | ○ | | | ○ | ○ | | | ○ | | | | | ○ | | | | | | | ○ | |
| | | 廊下 | 150 | 監督卓 | ○ | | | | | | ○ | ○ | | | | | | | | ○ | | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| | | | (調光) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 楽屋事務 | 500 | 手元 | ○ | | | ○ | ○ | | ○ | ○ | ○ | | ○ | | | | | ○ | | | | | | | ○ | |
| | | スタッフ室 | 500 | 手元 | ○ | | | ○ | | | ○ | ○ | ○ | | ○ | | | | | ○ | | | | | | | ○ | |
| | | 音響倉庫 | 150 | 手元 | ○ | | | | | | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 照明倉庫 | 150 | 手元 | ○ | | | | | | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 作業場 | 500 | 手元 | ○ | | 1φ,3φ | ○ | | | ○ | ○ | | | ○ | | | | | ○ | | | | | | | ○ | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 移動 | | | | | | | | |
| | | 洗濯・アイロン | 500 | 手元 | ○ | 専用 | | ○ | | | ○ | ○ | | | ○ | | | | | | | | | | | | | |
| | | 倉庫 | 150 | 手元 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 共用搬入口 | 300 | 手元 | ○ | ロッカー | | ○ | | ○ | | ○ | | | | | | 投光器 | ○ | | | | | | | | | |

| ゾーン | 階 | 室名称 | 照明 | | コンセント | | 電源 | 電話 | インターホン | | 放送 | | テレビ端子 | | 時計 | 監視カメラ | | その他 | 選営用ITV | | プラットホープ | インカム | | キュー | | 舞台音響 | その他 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 照度 | 点滅場所 | 一般 | 特殊 | 16,36 | | 保守 | 夜間 | 一般 | 非常 | 一般 | CS | | モニター | カメラ | | カメラ | モニター | アンテナ | マイク | 受口 | 機器 | 押釦 | ランプ | スピーカー | |
| 大ホール | 1階 | 客室 | 300 | 調光室 | ○ | | | | | | | ○ | | | | | | | | ○ | | | | | | | | 禁煙，等ち時間 |
| | | 前室 | 300 | 監督卓 | ○ | | | | | | | ○ | | | | | | | | ○ 移動 | | | | | | | | |
| | | 主催者室 | 500 | 手元 | ○ | | | ○ | ○ | | ○ | ○ | ○ | | ○ | | | | | ○ | | | | | | | | |
| | | ホワイエ | 300 | 主催者 | ○ | | | | | | | ○ | | | | | | | ○ | ○ 移動 | | | | | | | | |
| | | TELコーナー | 300 | 主催者 | ○ | PT用 | | ○ (PT) | | | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | WC | 150 | 主催者 | ○ | | | | | | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 親子室 | 500 (調光) | 手元 | ○ | ○ | | ○ | | | ○ | ○ | ○ | | ○ | | | | | ○ | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| | | 備品庫 | 150 | 手元 | ○ | | | | | | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | チケット | 500 | 手元 | ○ | | | ○ | ○ | | ○ | ○ | | | ○ | | | LAN | | | | | | | | | | |
| | | ホワイエ拡張スペース | 300 | 防災センター | ○ | | | | | | ○ | ○ | | | | | ○ | | ○ | ○ 移動 | | | | | | | ○ | |
| | | 監督室 | 500 (調光) | 手元 | ○ | | | ○ | | | ○ | ○ | ○ | | ○ | | | LAN | | ○ | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| | 2階 | 調光室 | 500 (調光) | 手元 | ○ | | | ○ | ○ | | ○ | ○ | | | ○ | | | LAN | | ○ | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| | | 音響調整室 | 500 (調光) | 手元 | ○ | | | ○ | | | ○ | ○ | ○ | | ○ | | | LAN | | ○ | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| | | ホワイエ | 300 | 主催者 | ○ | | | | | | | ○ | | | | | | | ○ | | | | | | | | ○ | |
| | 3階 | フォロースポット | 500 (調光) | 手元 | ○ | ○ | | ○ | | | ○ | ○ | ○ | | ○ | | | | | ○ | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| | | 調光機械室 | 200 | 手元 | ○ | | | ○ | ○ | | ○ | ○ | | | ○ | | ○ | | | | | | | | | | | |
| | | 技術ギャラリー | 300 (調光) | 調光室 | ○ | | | ○ | | | | ○ | | | | | | LAN | ○ | | | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| | | アンプ室 | 200 | 手元 | ○ | | | ○ | ○ | | ○ | ○ | | | | | ○ | | | | | | | | | | | |
| | | 調光機械室 | 200 | 手元 | ○ | | | ○ | ○ | | ○ | ○ | | | ○ | | ○ | | | | | | | | | | | |

| ゾーン | 階 | 室名称 | 照明 | | コンセント | | 電源 | 電話 | インターホン | | 放送 | | テレビ端子 | | 時計 | 監視カメラ | | その他 | 還営用ITV | | プラットルーブ | インカム | | キュー | | 舞台音響 | その他 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 照度 | 点滅場所 | 一般 | 特殊 | | | 保守 | 夜間 | 一般 | 非常 | 一般 | CS | | モニター | カメラ | | カメラ | モニター | アンテナ アンプ | 受口 | 機器 | 押釦 | マイク | スピーカー | |
| 小ホール | B2 | 奈落 | 150 | 監督卓 | ○ | 専用 | | | | | | ○ | | | | | | | ○ | ○ | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| | B1 | 舞台 | 300 | 監督卓 | ○ | 専用 | 1φ,3W | ○ | | | ○ | ○ | | | ○ | | | | ○ | ○ | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | NHK対応 |
| | | | (遠明り) | | | | | | | | | | | | | | | | (移動) | (移動) | | | | | | | |
| | | 楽屋A～D | 500 | 手元 | ○ | ﾄﾞﾗｲﾔｰ | | ○ | | | ○ | ○ | | | ○ | | | | | ○ | | | | | | ○ | |
| | | シャワー，WC | 150 | 手元 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 搬入口 | 300 | 手元 | ○ | | | ○ | | ○ | | ○ | | | | | | 投光器 | ○ | | | | | | | | |
| | | 楽屋通路 | 150 | 監督卓 | ○ | | | | | | ○ | ○ | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | (調光) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | ラウンジ | 300 | 手元 | ○ | 自販機 | | | | | ○ | ○ | | | | | | | | ○ | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| | | ピアノ庫 | 150 | 手元 | ○ | | | | | | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | スタッフ室 | 500 | 手元 | ○ | | | ○ | | | ○ | ○ | ○ | | ○ | | | LAN | | ○ | | | | | | | |
| | | 楽屋事務 | 500 | 手元 | ○ | | | ○ | | | ○ | ○ | ○ | | ○ | | | | | ○ | | | | | | | |
| | | 廊下 | 150 | 監督卓 | ○ | | | | | | ○ | ○ | | | | | | | | ○ | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| | | | (調光) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 共用備品庫 | 150 | 手元 | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 1階 | 客室 | 300 | 調光室 | ○ | | | | | | | ○ | | | | | | | ○ | | ○ | | | | | ○ | 禁煙，待時間 |
| | | ホワイエ | 300 | 主催者 | ○ | | | | | | | ○ | | | | | | | ○ | ○ | | | | | | ○ | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | (移動) | | | | | | | |
| | | 主催者室 | 500 | 手元 | ○ | | | ○ | | | ○ | ○ | ○ | | ○ | | | | | | | | | | | | |
| | | WC | 150 | 主催者 | ○ | | | | | | | ○ | | | | | | | | | | | | | | ○ | |
| | | 親子室 | 500 | 手元 | ○ | | | ○ | | | ○ | ○ | ○ | | ○ | | | | | ○ | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| | | | (調光) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 調整室 | 500 | 主催者 | ○ | ○ | | ○ | | | ○ | ○ | ○ | | ○ | | | LAN | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| | | 音響室 | 500 | 手元 | ○ | ○ | | ○ | | | ○ | ○ | ○ | | ○ | | | LAN | | ○ | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| | | | (調光) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 備品庫 | 150 | 主催者 | ○ | | | | | | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 2階 | フォロースポット | 150 | 監督卓 | ○ | ○ | | ○ | | | | ○ | ○ | | ○ | | | LAN | ○ | ○ | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| | | | (調光) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 調光機械室 | 200 | 手元 | ○ | | | ○ | ○ | | ○ | ○ | | | | | ○ | | | | | | | | | | |
| | | アンプ室 | 200 | 手元 | ○ | | | ○ | ○ | | | ○ | | | | | ○ | | | | | | | | | | |

| ゾーン | 階 | 室名称 | 照明 | | コンセント | | 電源 | 電話 | インターホン | | 放送 | | テレビ端子 | | 時計 | 監視カメラ | | その他 | 遠隔用ITV | | フラットルーフ | インカム | | キュー | | 舞台音響 | 舞台照明 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 照度 | 点滅場所 | 一般 | 特殊 | 1φ,3φ | | 保守 | 夜間 | 一般 | 非常 | 一般 | CS | | モニター | カメラ | | カメラ | モニター | アンテナ | マイク | 受口 | 機器 | 押釦 | ランプ | スピーカー | |
| アートリビングゾーン | 1階 | 展示ギャラリー1 | 300 | 防災センター | ○ | 展示用 | | ○ | | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | ○ | | | | | | | | | | |
| | | | (調光) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | アトリウム | 300 | 防災センター | ○ | 展示用 | 1φ,3φ | ○ | | | ○ | ○ | ○ | ○ | | | ○ | | | | | | | | | ○ | ○ |
| | | | | | | | | (PT) | | | | | | | | | | | | | | | | | | (仮設) | (仮設) |
| | | 展示ギャラリー2 | 300 | 防災センター | ○ | 展示用 | | ○ | | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | ○ | | | | | | | | | | |
| | | | (調光) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 控室(清掃員) | 300 | 手元 | ○ | | | ○ | ○ | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | ○ | | | | | | | ○ | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 大・小ホール | | | | | | | | |
| | | 倉庫 | 150 | 手元 | ○ | | | | | | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 映像ホール | 500 | 映写 | ○ | | | | | | | ○ | | | | | | | ○ | | ○ | | | | | ○ | ○ |
| | | | (調光) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 控室 | 500 | 手元 | ○ | | | ○ | ○ | | ○ | ○ | ○ | | ○ | | | | | ○ | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 映写室 | 500 | 手元 | ○ | 映写機 | 1φ,3φ | ○ | | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | LAN | | ○ | | ○ | | | | | |
| | | | (調光) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | WC | 150 | 防災センター | ○ | | | | | | ○ | ○ | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 倉庫 | 150 | 手元 | ○ | | | | | | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 2階 | 舞踊練習室 | 300 | 手元 | ○ | AMP | | ○ | | | ○ | ○ | | | ○ | | | LAN | | ○ | | | | | | ○ 持込対応 | ○ |
| | | | (地明り) | | | | | | | | | | | | | | | | | 大・小ホール | | | | | | | |
| | | 更衣室 | 300 | 手元 | ○ | | | | | | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | シャワー室 | 200 | 手元 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 音楽室 | 500 | 手元 | ○ | AMP | | ○ | ○ | | ○ | ○ | | | ○ | | | LAN | | ○ | | | | | | ○ 持込対応 | ○ |
| | | | (調光) | | | | | | | | | | | | | | | | | 大・小ホール | | | | | | | |
| | | ピアノ庫 | 150 | 手元 | ○ | | | | | | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 備品庫 | 150 | 手元 | ○ | | | | | | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 美術工作室 | 500 | 手元 | ○ | ろくろ | 陶芸釜 | ○ | ○ | | ○ | ○ | ○ | | ○ | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 準備室 | 500 | 手元 | ○ | | | ○ | | | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 共同倉庫 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 暗室 | 100 | 手元 | ○ | ○ | | | | | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 調理実習室 | 500 | 手元 | ○ | レンジ | | ○ | ○ | | ○ | ○ | ○ | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 講義室 | 500 | 手元 | ○ | | | ○ | ○ | | ○ | ○ | ○ | | ○ | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | ラウンジ | 300 | 防災センター | ○ | | | ○ | | | ○ | ○ | | ○ | | | ○ | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | PT | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | ポピュラー | 500 | 手元 | ○ | AMP | | ○ | ○ | | ○ | ○ | ○ | | ○ | | | | | | | | | | | ○ 持込対応 | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| ゾーン | 階 | 室名称 | 照明 | | コンセント | | 電源 | 電話 | インターホン | | 放送 | | テレビ端子 | | 時計 | 監視カメラ | | その他 | 運営用ITV | | フラットホープ | インカム | | キュー | | 舞台音響 | その他 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 照度 | 点滅場所 | 一般 | 特殊 | 1φ,3φ | | 保守 | 夜間 | 一般 | 非常 | 一般 | CS | | モニター | カメラ | | カメラ | モニター | アンテナ | マイク | 受口 | 機器 | 押釦 | ランプ | スピーカー | |
| アートリビング | | プラウジング・AV | 300 | 筋交センター | ○ | | | | | | ○ | ○ | ○ | ○ | | | ○ | | | | | | | | | | | |
| | | 遊戯室 | 300 | 手元 | ○ | | ○ | ○ | ○ | | ○ | ○ | ○ | ○ | | | ○ | | | | | | | | | | | |
| | | リフレッシュスペース | 300 | 筋交センター | ○ | 自販機 | | | | | ○ | ○ | ○ | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | ミニキッチン | 500 | 手元 | ○ | | ○ | ○ | ○ | | ○ | ○ | ○ | | ○ | | | | | | | | | | | | | |
| | | WC | 150 | 筋交センター | ○ | | | | | | ○ | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 創造スタッフ | 500 | 手元 | ○ | | | ○ | ○ | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | LAN | | ○ 大・小ホール | | | | | | | ○ 大・小ホール | |
| | | 書庫 | 150 | 手元 | ○ | | | | | | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 打合コーナー | 500 | 手元 | ○ | | | ○ | | | | ○ | | | ○ | | | | | | | | | | | | | |
| | | パソコン室 | 500 (OAルーバー) | 手元 | ○ | パソコン | | ○ | | | ○ | ○ | ○ | | ○ | | | LAN | | | | | | | | | | |
| | | 廊下 | 150 | 筋交センター | ○ | | | | | | ○ | ○ | | | | | ○ | | | | | | | | | | | |
| | 3階 | 洋会議室 | 500 | 手元 | ○ | | | ○ | | | ○ | ○ | ○ | | ○ | | | | | | | | | | | | | |
| | | 和会議室 | 300 | 手元 | ○ | | | ○ | | | ○ | ○ | ○ | | ○ | | | | | | | | | | | | | |

| ゾーン | 階 | 室名称 | 照明 | | コンセント | | 電源 | 電話 | インターホン | | 放送 | | テレビ端子 | | 時計 | 監視カメラ | | その他 | 運営用ITV | | フラットループ | インカム | | キュー | | 舞台音響 | その他 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 照度 | 点滅場所 | 一般 | 特殊 | 1φ,3φ | | 保守 | 夜間 | 一般 | 非常 | 一般 | CS | | モニター | カメラ | | カメラ | モニター | アンテナ | マイク | 受口 | 機器 | 押釦 | ランプ | スピーカー | |
| 事務室 | 1階 | 清掃員控室 | 200 | 手元 | ○ | | | ○ | ○ | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | ○ | | | | | | | ○ | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 大・小ホール | | | | | | | 大・小ホール | |
| | | 管理事務室 | 500 | 手元 | ○ | OA | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | LAN | | ○ | | | | | | | ○ | |
| | | | | | | コンセント | | | | | | | | | | | | | | 大・小ホール | | | | | | | 大・小ホール | |
| | | 防災センター | 500 | 手元 | ○ | | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | ○ | | | | | | | ○ | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 大・小ホール | | | | | | | 大・小ホール | |
| | | 生活情報センター | 500 | 防災センター | ○ | | | ○ | | | ○ | ○ | ○ | | ○ | | ○ | キャプテン | | | | | | | | | | |
| | | ロッカー | 300 | 手元 | ○ | ロッカー | | ○ | | | ○ | ○ | ○ | | ○ | | ○ | | | | | | | | | | | |
| | 2階 | 応接室 | 500 | 手元 | ○ | | | ○ | | | ○ | ○ | ○ | | ○ | | | | | | | | | | | | | |
| | | 館長室 | 500 | 手元 | ○ | | | ○ | | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | | ○ | | | | | | | ○ | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 大・小ホール | | | | | | | 大・小ホール | |
| | | 企画会議室1 | 500 | 手元 | ○ | | | ○ | | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | | ○ | | | | | | | ○ | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 大・小ホール | | | | | | | 大・小ホール | |
| | | 企画会議室2 | 500 | 手元 | ○ | | | ○ | | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | | ○ | | | | | | | ○ | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 大・小ホール | | | | | | | 大・小ホール | |
| | | 芸術監督室 | 500 | 手元 | ○ | | | ○ | | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | | ○ | | | | | | | ○ | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 大・小ホール | | | | | | | 大・小ホール | |
| | | WC | 150 | 手元 | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 湯沸室 | 150 | 手元 | ○ | ポット | | | | | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | |
| レストラン | | レストラン | 300 | 手元 | ○ | P T | | ○ | | | ○ | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | PT | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 厨房 | 500 | 手元 | ○ | | ○ | ○ | ○ | | ○ | ○ | ○ | | ○ | | | | | | | | | | | | | |
| | | 客用WC | 150 | 手元 | ○ | | | | | | ○ | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 控室 | 500 | 手元 | ○ | | | ○ | ○ | | ○ | ○ | ○ | | ○ | | | | | | | | | | | | | |
| | | WC | 150 | 手元 | ○ | | | | | | ○ | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | |
| その他 | | 駐車場 | 200 | 防災センター | ○ | | | ○ | ○ | | ○ | ○ | | | | | ○ | 駐車管制装置 | | | | | | | | | | |
| | | 外部 | 外灯 | 防災センター | | | イベント | ○ | | | | | | | ○ | | ○ | 駐車管制装置 | | | | | | | | | | |
| | | 電気室 | 200 | 手元 | ○ | | | ○ | ○ | | ○ | ○ | | | | | ○ | | | | | | | | | | | |
| | | 発電機室 | 200 | 手元 | ○ | | | ○ | ○ | | ○ | ○ | | | | | ○ | | | | | | | | | | | |
| | | 機械室 | 150 | 手元 | ○ | | | ○ | ○ | | ○ | ○ | | | | | ○ | | | | | | | | | | | |

# 3　機械設備計画

## 1　設備計画の基本方針

基本コンセプト

ホール施設は不特定多数の人が出入りする公共性の高い施設であるので、利用状況を十分に把握した上で条件設定を行い、安全面を優先して計画する。

Ⅰ　安全性：　不特定多数の出入りがあるため、常時・非常時を問わず、多方面に検討されたシステムとする。

Ⅱ　快適性：　諸設備の要・不要を十分に検討し、目的に応じた設備を設定する。

Ⅲ　機能性：　使用勝手や時間帯の異なる複数のゾーンが併立するため、それぞれの機能を把握した上で、それらの機能を十分に発揮させるためのシステムを計画する。そのために、機械の故障率の低下、耐用年数の増加、運転用エネルギーおよび運転費の節約等を目安に、目的にもっとも適うシステムを計画する。

Ⅳ　信頼性：　ホール内は無窓のため、空調設備にトラブルが発生すると使用できなくなる。その危険性をできるだけ排除するため、信頼性の高いシステムおよびバックアップシステムの設定を計画する。

## 2　空調設備計画

1　空調設備計画

［熱　源］

冷温熱源は、施設全体のエネルギーバランスを考慮し、ガス熱源とする。

部分負荷に対応できる機器の台数分割とする。

ガス焚吸収式冷温水発生機（300TXI．200TXI．100TXI）

２次ポンプは、インバーター式台数制御とし、搬送動力の低減化を図る。

単独使用が想定される部屋については、空冷ヒートポンプエアコンを設置する。

ピアノ庫は、中温型エアコンと除湿機を設置し、恒温恒湿状態を維持する。

音響・照明機器室は、冷房専用のエアコンを設置する。

［空調システム］

本施設は、その施設の性格上、冷房要求・暖房要求がシーズンを通して異なってくるため、それに対応できるシステムを計画する。

また、中間期の冷房要求には、外気冷房ができるシステムも同時に考慮する。

［ゾーニング計画］

設備系統のゾーニングの決定の際には、「用途」「時間帯」「使用頻度」要件を前提として決定する。

［空調ゾーンの特徴］

(1)　ホール客席

客席の構造上断面的に、客席位置の高さに差を生じるため、１階席と２階席とにゾーンを分化し、より均一な温度分布可能とする。また、冷気溜りが予想される場所には、床暖房を計画する。

(2)　ホール舞台

照明発熱およびコールドフライト防止対策を考慮する。また、客席との温度差を大きくつけると舞台風現象が生じやすくなるため、その点も注意して計画する。

(3) ホワイエ

ホール使用時間前と休憩時、終了時の3つの時間帯に集中する。集中時間に喫煙による排気換気を計画する。

(4) 楽屋

個室の利用状況に応じた空調運転制御、および温湿度制御が可能なシステムを計画する。

(5) アートリビング諸室

単独で使用できるよう計画する。

(6) 管理事務室

省エネの視点から、太陽電池と商用電源で併用運転するソーラーエアコンを単独に設置する。

(7) レストラン

テナント扱いをするケースもあるので、単独の空調とする。

[騒音防止計画]

(1) 許容騒音値の設定

| 系　統……NC値 | 系　統……NC値 | 系　統……NC値 |
|---|---|---|
| 大ホール系統……NC20<br>小ホール系統……NC20<br>音楽室……NC20 | 映像シアター……NC25<br>舞踊室……NC25<br>楽屋……NC25 | ホワイエ……NC30 |

(2) 騒音対策

a．ダクト風速

・機械室内－7m／sec　・メイン－5m／sec　・枝－3m／sec

b．消音装置（消音エルボ）の設置

・ホール―6～8コ　・調整室―4～6コ　・会議室―3～4コ

c．楽屋等のファンコイルは、弱能力で熱負荷を賄うものとする。

d．機器、ダクト、配管類の防振を十分に行う。

[熱負荷想定]

| 施設系統 | 最大熱負荷（kcal/h） | |
|---|---|---|
| | 冷　房 | 暖　房 |
| 大ホール | 465,000 | 369,000 |
| 小ホール | 234,000 | 187,000 |
| アートリビング | 591,000 | 522,000 |
| 事務室系 | 81,500 | 75,000 |
| 合　計 | 1,371,500 | 1,153,000 |

(1) 概算負荷の算定条件

a. 気象条件

| | 1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 年 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 平年気温 | 3.7 | 4.3 | 7.6 | 13.8 | 18.4 | 22.0 | 25.8 | 27.1 | 23.1 | 17.0 | 11.5 | 6.2 | 15.1 |
| 日最高気温 | 8.4 | 9.3 | 13.0 | 19.2 | 23.7 | 26.6 | 30.3 | 32.2 | 27.8 | 22.2 | 16.7 | 11.0 | 20.1 |
| 日最低気温 | −0.2 | 0.2 | 2.9 | 9.0 | 13.7 | 18.3 | 22.4 | 23.5 | 19.6 | 12.9 | 7.1 | 2.1 | 11.0 |
| 平年相対湿度 | 65 | 64 | 61 | 65 | 68 | 74 | 78 | 74 | 75 | 70 | 68 | 67 | 69 |

注) 気温℃, 湿度は%

b. 室内条件

| 季節 | DB | 相対湿度 | 絶対湿度 | エンタルピー |
|---|---|---|---|---|
| 夏 | 26.0 | 50% | 10.5 ($\times 10^{-3}$) | 12.6 |
| 冬 | 22.0 | 40% | 6.6 ($\times 10^{-3}$) | |

c. 熱負荷概算

| 室 名 | 夏 | 冬 | 換気量 | 人員(人／㎡) |
|---|---|---|---|---|
| 舞台 | 250 | 150 | 20 | − |
| 客席 | 250 | 200 | 75 | 席 数 |
| ホワイエ | 150 | 100 | 10 | 0.1 |
| 練習室 | 200 | 150 | 15 | 0.1 |
| 事務室 | 150 | 150 | 7 | 0.2 |
| 会議室 | 200 | 150 | 7 | 0.2 |
| 楽屋 | 150 | 150 | 10 | 0.1 |
| レストラン | 220 | 100 | 20 | 1席 1.2人 |
| 映像ホール | 350 | 150 | 15 | 1席 1㎡ |
| アトリウム | 150 | 150 | 3 | − |

会議室 OA 50CMH/人

2 換気設備計画

使用用途に応じて方式、系統を計画する。

・換気量(法定)

| | 換気量($m^3/hm^2$) | 法 規 | 備 考 |
|---|---|---|---|
| ホール | 75 | 都安全条例 | 外気量25$m^3/hm^2$ |

・主要室の換気方法と換気量

| 換気方式 | 系統 | 換気回数(回/h) | 備　考 |
|---|---|---|---|
| 第１種換気<br>機械給気<br>機械排気 | 空調機械室 | 5 | |
| | 発電機室 | 6 | 一般時対応<br>＊非常時は発電機の必要換気量分別系統にて設備 |
| | 厨房 | 50 | |
| | ゴミ置場 | 20 | 冷房を考慮 |
| | 倉庫 | 5 | |
| | 駐車場 | 10 | ダクトレス換気 |
| | ELV機械室 | 15 | |
| 第３種換気<br>自然給気<br>機械排気 | 便所 | 15 | |
| | 湯沸かし室 | 20 | |
| | 浴室 | 20 | |
| | ロッカー室 | 7 | |

3　排煙設備計画

自然排煙と機械排煙とに区別され、建築計画に合わせていずれかの方式を計画する。

(1)　機械排煙

| 室名系統 | 排煙区画 | 排　煙　風　量 | 備　考 |
|---|---|---|---|
| 客席系統 | 500㎡を越えてもよい | 500㎡/sec以上、かつ防煙区画面積(㎡)×１$m^3$/sec | 建設省告示31号 |
| 舞台系統 | 同上 | 同上 | 同上 |
| 一般居室系統<br>地下廊下系統 | 500㎡以内で排煙区画 | 120$m^3$/sec以上、かつ防煙区画面積(㎡)×１$m^3$/sec | 建築基準法施行令第126条3 |

(2)　排煙口および手動装置は、関係法規に準拠し設置する。
手動開放装置は電気式とし、排煙口は自動復帰機能式とする。

(3)　排煙設備は中央監視室にて制御、監視を行うものとする。

4　監視制御設備計画

(1)　監視設備は、運転、設定、計測において細かい要求にも十分対応できるシステムとする。
監視設備は、防災系と設備係に分けて構築するが、設備系の状態表示および、取り込み防災設備状態については、１台のマンマシーン装置で一括監視ができる明解なシステムとする。

(2)　ホール予約管理については、予約台帳管理用パーソナルコンピュータを事務室に設置し、予約業務のサポートを行うとともに、予約状態をオンラインにて、監視設備に対してアクセスできるものとし、熱源機器、空調機器等の自動運転化を図り、省力化、省エネの方向性を追求する。

(3)　ローカル制御については、監視設備の機能が分散制御方式で構築しているので、主機器はＤＤＣ制御にて行う。また、ホールの空調制御は調整室においても設定、制御できるシステムとする。

## 3　給排水・衛生設備計画

［給水計画概要］

ホール施設においては、職員の水使用料は一定しているが、ホール公演の有無とその内容によって大きく変化する。使用しない時期が長くなると、受水タンクの水が長時間貯溜され、水質劣化を生じる可能性も出てくる。

このため、飲料水の水質劣化を防ぐために、給水系統を上水と雑用水の２系統に分けるとともに上水受水槽は、水位調節ができるようなシステムを計画する。

［給水種類］

| 上　水 | 雑 用 水 |
|---|---|
| 飲料水用<br>便所手洗い用<br>厨房用<br>シャワー用 | 洗浄用<br>散水用<br>冷却塔補給 |

［給水方式］

- 上水、雑用水系統とも加圧式給水方式とする。
- 加圧給水ユニットは、ポンプ台数制御により使用水量に応じて最適運転台数を制御させる。
- ポンプはローテーション運転を行い、運転時間の均一化を図る。
- 停電時は、自家発により供電する。

［給水量］

(1)　計画水量は次表のとおり。

| 室　用　途 | 人員算定根拠値 | 給水量(L／人D) | | 給水量 | 比　　率 | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 上水 | 雑用水 | (L／人D) | 上水 | 雑用水 |
| 客席 | 席数 | 16 | 24 | 40 | 0.4 | 0.6 |
| 主催者控室等 | 1人5㎡ | 20 | 20 | 40 | 0.5 | 0.5 |
| 楽屋 | 1人10㎡ | 20 | 20 | 40 | 0.5 | 0.5 |
| 練習室系諸室 | 1人5㎡ | 20 | 20 | 40 | 0.5 | 0.5 |
| レストラン | 1席4回転 | 40 | 10 | 50 | 0.8 | 0.2 |
| 厨房従業員 | | 50 | 50 | 100 | 0.5 | 0.5 |
| 事務室・会議室 | 1人5㎡ | 50 | 50 | 100 | 0.5 | 0.5 |
| ホワイエ | 1人10㎡ | 12 | 18 | 30 | 0.4 | 0.6 |
| 展示ギャラリー | 1人5㎡ | 16 | 24 | 40 | 0.4 | 0.6 |

(2)　給水量

| 室用途 | 上水給水量(L/日) | 雑用水給水量(L/日) | 日給水量計(L/日) |
|---|---|---|---|
| 大ホール | 14,530 | 20,930 | 35,460 |

| | | | |
|---|---|---|---|
| 小ホール | 5,690 | 8,090 | 13,780 |
| 事務室 | 4,750 | 4,750 | 9,500 |
| アートリビング | 13,308 | 15,492 | 28,800 |
| レストラン | 19,200 | 4,800 | 24,000 |
| 冷却塔補給水 | 0 | 63,720 | 63,720 |
| 合　計 | 57,478 | 117,782 | 175,260 |

(3) 受水槽容量

上水給水量　28,739(L/日)　　雑用水給水量　58,891(L/日)

(4) 時間平均給水量

175,260(L/日)÷10H＝17,526(L/H)　　292(L/min)

(5) 給水引込口径

65A

[排水設備]

建物内は、汚水、雑用水の分流式とし、屋外にて合流し下水道本管に放流する。

都市設備（雨水排水管）の負担の低減を図るために雨水再利用を考慮する。

・ 汚水排水量

1日の最大汚水量は1日最大給水量とし、時間最大汚水量は1日最大汚水量の10%とする。

汚水量

| 施設系統 | 1日最大汚水量($m^3$) | 時間最大汚水量($m^3$) |
|---|---|---|
| 大ホール | 35,460 | 3,546 |
| 小ホール | 13,780 | 1,378 |
| 事務管理系 | 9,500 | 950 |
| アートリビング | 28,800 | 2,880 |
| レストラン | 24,000 | 2,400 |
| 計 | 111,540 | 11,154 |

[給湯設備]

(1) 基本方針

シャワー、浴室系統は、給湯量が多いことが予想されるので中央式とし、飲料系統は、給湯量が少なく給湯個所も散在しているので局所式とする。

また、レストラン厨房系統は、管理の面から単独とし、局所式の瞬間湯沸器にて、給湯を行う。

(2) 計画給湯量

中央式による場合の給湯量想定は右のとおり

| 施設名称 | 人員 | 単位給湯量(L/人・日) | 給湯量(L/日) | 時間最大予想給湯量(L/h) |
|---|---|---|---|---|
| 大ホール | 800 | 5 | 4,000 | 800 |
| 大ホール楽屋 | 44 | 50 | 2,200 | 880 |
| 小ホール | 300 | 5 | 1,500 | 300 |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 小ホール楽屋 | 12 | 50 | 600 | 240 |
| アートリビング | 600 | 5 | 3,000 | 600 |
| アートリビング練習室 | 20 | 50 | 1,000 | 400 |
| 計 | | | 12,300 | 3,220 |

［雨水再利用設備］

(1) 水資源の有効利用

敷地内に降った雨水の利用可能部分を雑用水に利用する。

(2) 集水

屋根又は、これに類する個所からの集水を原則とする。

酸性雨対策および屋根面のゴミ混入防止のための初期雨水を、雨量計およびタイマーにより排出する。

(3) 用途

便所洗浄水・冷却塔補給水および屋外散水に利用する。

災害時用として、飲料ろ過装置(1,000L/h程度)を設け、緊急時の給水源とすることについて検討

(4) 雨水貯溜槽

月最大降水量(6月)の1/2を貯溜する。

1,275m³×1/2=638m³

(5) 年間降水量の設定

| | 月平均降水量 m/m | 屋根面積 ㎡ | 降水量 m³ | 使用量 m³ | 利用率 % |
|---|---|---|---|---|---|
| 1月 | 42 | 6,500 | 246 | 945 | 26 |
| 2月 | 64 | ↓ | 374 | 945 | 40 |
| 3月 | 110 | | 644 | 945 | 68 |
| 4月 | 151 | | 883 | 983 | 90 |
| 5月 | 157 | | 918 | 1,103 | 83 |
| 6月 | 218 | | 1,275 | 1,590 | 80 |
| 7月 | 213 | | 1,246 | 2,446 | 51 |
| 8月 | 154 | | 901 | 2,624 | 41 |
| 9月 | 211 | | 1,234 | 1,901 | 34 |
| 10月 | 114 | | 667 | 1,044 | 64 |
| 11月 | 71 | | 415 | 964 | 43 |
| 12月 | 40 | | 234 | 45 | 25 |
| 計 | | 6,500 | 9,037 | 16,435 | 54 |

注)
1.流出係数は0.9
2.月平均降水量は、1961～1990年平均

［集水設備の検討］

(1) 集水・ろ過

比較的良質の雨水が収集できる。屋根・屋上面を限定とするので砕石などの簡単なろ過設備とする

雨水貯水槽は、躯体の地下スラブ（二重ピット）を利用する。

沈砂槽の容量は、使用水量の1日分とする。

(2) 安全対策

４月～１０月にかけて雨水貯溜槽が満水することが考えられるため、オーバーフロー管を沈砂槽に設け、屋外雨水系統へ直接放流させるようにする。ただし、自然排水ができない場合は、満水警報装置との連動によりオーバーフローポンプを設置する。

[消火設備]

消火設備は、消防法令に準拠して設置する。

防火対象物　イ耐火建築物

| 種類 | 適用 |
|---|---|
| スプリンクラー消火設備（閉鎖型） | 全館 |
| | 免除部分（検討） |
| | 固定席天井高８ｍ以上の部分 |
| | 便所・シャワー室 |
| | 階段・シャフト |
| スプリンクラー消火設備（開放型） | 舞台部 |
| 屋内消火栓設備 | 全館 |
| 泡消火設備 | 駐車場 |
| ドレンチャー設備 | 小ホールの舞台と客席の延焼防止 |
| イナージェンガスシステム | 電気室・発電気室・防災センター・音響照明機器室 |
| | 消防法施行令第３２条により「消防防災システム評価」 |

[ガス設備]

供給ガスは、東邦ガス㈱13A11,000kcal/Nm³

ガス使用部分を限定し、安全に十分配慮する。

空調、給湯熱源機器用のガスは、使用料が多いため中圧ガスを利用する。

レストラン厨房、作業場、美術室、調理室は、低圧ガスを利用する。

使用個所と使用量の想定

| 個所・用途 | 単位ガス使用量 | ガス使用量(Mcal/h) |
|---|---|---|
| レストラン厨房 | 1,000Kcal/h'㎡ | 50 |
| 作業場 | バーナー１個2,500kcal/h | 5 |
| 美術工作室 | バーナー１個2,500kcal/h | 10 |
| 調理実習室 | バーナー１個2,500kcal/h | 30 |
| 吸収冷温水機 | | 1,920 |
| 温水ヒーター | | 250 |
| 計 | | 2,265 |

＊機械設備関係諸元表

次表1/7～7/7に示すとおり

諸元表

設備諸元表－1

排煙　●機械○自然△免除

| ゾーン | 階 | NO | 室名称 | 空調 | | | | | | | 衛生 | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 空調機系 | ファンコイル | 個別系 | 換気 | 排煙 | 専用換気 | 許容騒音値 | 給水 | 給湯 | 排水 | 特殊排水 | ガス | 消火 |
| 大ホール | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | B1 | H101 | 舞台 | ○ | | | | ● | | NC20 | | | | | | 開放SP |
| | | H102 | 後舞台 | ○ | | | | ● | | NC20 | | | | | | 開放SP |
| | | H103 | 楽屋1 | | ○ | | ○ | △ | | NC25 | ○ | ○ﾊﾝﾄﾞｼｬﾜｰ | ○ | | | SP |
| | | H104 | 楽屋2 | | ○ | | ○ | △ | | NC25 | ○ | ○ﾊﾝﾄﾞｼｬﾜｰ | ○ | | | SP |
| | | H105 | 楽屋3 | | ○ | | ○ | △ | | NC25 | ○ | ○ﾊﾝﾄﾞｼｬﾜｰ | ○ | | | SP |
| | | H106 | 楽屋4 | | ○ | | ○ | △ | | NC25 | ○ | ○ﾊﾝﾄﾞｼｬﾜｰ | ○ | | | SP |
| | | H107 | 楽屋5 | | ○ | | ○ | △ | | NC25 | ○ | ○ﾊﾝﾄﾞｼｬﾜｰ | ○ | | | SP |
| | | H108 | 楽屋6 | | ○ | | ○ | △ | | NC25 | ○ | ○ﾊﾝﾄﾞｼｬﾜｰ | ○ | | | SP |
| | | H109 | 楽屋7 | | ○ | | ○ | △ | | NC25 | ○ | ○ﾊﾝﾄﾞｼｬﾜｰ | ○ | | | SP |
| | | H110 | 楽屋8 | | ○ | | ○ | △ | | NC25 | ○ | ○ﾊﾝﾄﾞｼｬﾜｰ | ○ | | | SP |
| | | H111 | WC.ｼｬﾜｰ(M) | | | | ○ | △ | | | ○ | ○ | ○ | | | 消火栓 |
| | | H112 | WC.ｼｬﾜｰ(W) | | | | ○ | △ | | | ○ | ○ | ○ | | | 消火栓 |
| | | H113 | 館側技術職員室 | | | ○ | ○ | △ | | | ○ | ○ | ○ | | | SP |
| | | H114 | 楽屋事務室 | | ○ | | ○ | △ | | | | | | | | SP |
| | | H115 | スタッフ室 | | ○ | | ○ | △ | | | ○ | ○ | ○ | | | SP |
| | | H116 | 楽屋通路 | ○ | | | | ● | | | | | | | | SP |
| | | H117 | 湯沸室 | | | | ○ | △ | | | ○ | ○ | ○ | | | 消火栓 |
| | | H118 | 共用備品庫 | | | | ○ | △ | | | | | | | | SP |
| | | H119 | ピアノ庫 | | | 中温用除湿器 | | △ | | | | | | | | SP |
| | | H120 | 音響倉庫 | | | | ○ | △ | | | | | | | | SP |
| | | H121 | 照明倉庫 | | | | ○ | △ | | | | | | | | SP |
| | | H122 | 作業場 | | ○ｽﾎﾟｯﾄ | | ○ | ○ | ○舞台美術 | | ○ | ○ | ○ | ○舞台美術 | ○ | SP |
| | | H123 | 倉庫 | | | | ○ | △ | | | | | | | | SP |
| | | H124 | 洗濯機.ｱｲﾛﾝ | | | | ○ | △ | | | ○ | | ○ | | | SP |
| | | H125 | 搬入口 | | | | ○ | ● | ○排気ｶﾞｽ | | ○ | | ○ | | | SP |
| | | H126 | EV機械室 | | | | ○ | △ | | | | | | | | 消火栓 |
| | | H127 | 備品庫 | | | | ○ | △ | | | | | | | | SP |

設備諸元表－2

排煙　●機械○自然△免除

| ゾーン | 階 | | 室名称 | 空調 | | | | | | | 衛生 | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 空調機系 | ファンコイル | 個別系 | 換気 | 排煙 | 専用換気 | 許容騒音値 | 給水 | 給湯 | 排水 | 特殊排水 | ガス | 消火 |
| 大ホール | 1 | H128 | 客席 | ○ | | | | ● | | NC20 | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | 消火栓 |
| | | H129 | 前室 | ○ | | | | ● | | NC25 | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | SP |
| | | H130 | ホワイエ | ○ | | | | ● | | NC30 | ○ | | ○ | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | SP |
| | | H131 | 主催者室 | | ○ | | ○ | △ | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | SP |
| | | H132 | 監督室 | | ○ | | ○ | △ | | NC20 | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | SP |
| | | H133 | 親子室 | | ○ | | ○ | △ | | NC20 | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | SP |
| | | H134 | チケット | | ○ | | ○ | △ | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | SP |
| | | H135 | WC(M) | | | | ○ | △ | | | ○ | ○ | ○ | | | 消火栓 |
| | | H136 | WC(W) | | | | ○ | △ | | | ○ | ○ | ○ | | | 消火栓 |
| | | H137 | WC(身障者) | | | | ○ | △ | | | ○ | ○ | ○ | | | 消火栓 |
| | | H138 | 備品庫 | | | | ○ | △ | | | | | | | | SP |
| | 2 | H139 | 客席 | ○ | | | | ● | | NC20 | | | | | | 消火栓 |
| | | H140 | 調光室 | | ○ | | ○ | △ | | NC20 | | | | | | SP |
| | | H141 | 音響調整室 | | ○ | | ○ | △ | | NC20 | | | | | | SP |
| | | H142 | ホワイエ | ○ | | | | ● | | NC30 | ○ | | ○ | | | SP |
| | 3 | H143 | 調光操機室 | | | ○冷専 | ○ | △ | | | | | | | | ガス消火 |
| | | H144 | アンプ室 | | | ○冷専 | ○ | △ | | | | | | | | ガス消火 |
| | | H145 | フォロースポット室 | | | ○冷専 | ○ | △ | | | | | | | | ガス消火 |

設備諸元表－3

排煙　●機械○自然△免除

| ゾーン | 階 | NO | 室名称 | 空調 | | | | | | | 衛生 | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 空調機系 | ファンコイル | 個別系 | 換気 | 排煙 | 専用換気 | 許容騒音値 | 給水 | 給湯 | 排水 | 特殊排水 | ガス | 消火 |
| 小ホール | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | B1 | H201 | 舞台 | ○ | | | | ● | | NC20 | | | | | | 開放SP |
| | | H202 | 客席 | ○ | | | | ● | | NC20 | | | | | | 消火栓 |
| | | H203 | 楽屋A | | ○ | | ○ | △ | | NC25 | ○ | ○ﾊﾝﾄﾞｼｬﾜｰ | ○ | | | SP |
| | | H204 | 楽屋B | | ○ | | ○ | △ | | NC25 | ○ | ○ﾊﾝﾄﾞｼｬﾜｰ | ○ | | | SP |
| | | H205 | 楽屋C | | ○ | | ○ | △ | | NC25 | ○ | ○ﾊﾝﾄﾞｼｬﾜｰ | ○ | | | SP |
| | | H206 | 楽屋D | | ○ | | ○ | △ | | NC25 | ○ | ○ﾊﾝﾄﾞｼｬﾜｰ | ○ | | | SP |
| | | H207 | WC.ｼｬﾜｰ(M) | | | | ○ | △ | | | ○ | ○ | ○ | | | 消火栓 |
| | | H208 | WC.ｼｬﾜｰ(W) | | | | ○ | △ | | | ○ | ○ | ○ | | | 消火栓 |
| | | H209 | スタッフ室 | | ○ | | ○ | △ | | | ○ | ○ | ○ | | | SP |
| | | H210 | 楽屋事務 | | ○ | | ○ | △ | | | | | | | | SP |
| | | H211 | 楽屋通路 | ○ | | | | ● | | | | | | | | SP |
| | | H212 | 湯沸室 | | | | ○ | △ | | | ○ | ○ | ○ | | | 消火栓 |
| | | H212 | ピアノ庫 | | | 中温用<br>除湿器 | | △ | | | | | | | | SP |
| | | H213 | 搬入口 | | | | ○ | ● | ○排気ｶﾞｽ | | ○ | | ○ | | | SP |
| | | H214 | 共用搬入口 | | | | ○ | ● | ○排気ｶﾞｽ | | ○ | | ○ | | | SP |
| | | H215 | EV機械室 | | | | ○ | △ | | | | | | | | 消火栓 |
| | 1 | H216 | 客席 | ○ | | | | ● | | NC20 | | | | | | 消火栓 |
| | | H217 | ホワイエ | ○ | | | | ● | | NC30 | ○ | | ○ | | | SP |
| | | H218 | 親子室 | | ○ | | ○ | △ | | NC20 | | | | | | SP |
| | | H219 | 音響室 | | ○ | | ○ | △ | | NC20 | | | | | | SP |
| | | H220 | 調光室 | | ○ | | ○ | △ | | NC30 | | | | | | SP |
| | | H221 | WC(M) | | | | ○ | △ | | | ○ | ○ | ○ | | | 消火栓 |
| | | H222 | WC(W) | | | | ○ | △ | | | ○ | ○ | ○ | | | 消火栓 |
| | | H223 | WC(身障者) | | | | ○ | △ | | | ○ | ○ | ○ | | | 消火栓 |
| | | H224 | 主催者控室 | | ○ | | ○ | △ | | | ○ | ○ | ○ | | | SP |
| | | H225 | チケット | | ○ | | ○ | △ | | | | | | | | SP |

設備諸元表－4

排煙　●機械○自然△免除

| ゾーン | 階 | NO | 室名称 | 空調 | | | | | | | 衛生 | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 空調機系 | ファンコイル | 個別系 | 換気 | 排煙 | 専用換気 | 許容騒音値 | 給水 | 給湯 | 排水 | 特殊排水 | ガス | 消火 |
| 小ホール | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 2 | H226 | 調光機械室 | | | ○冷専 | ○ | △ | | | | | | | | ｶﾞｽ消火 |
| | | H227 | アンプ室 | | | ○冷専 | ○ | △ | | | | | | | | ｶﾞｽ消火 |
| | | H228 | ﾌｫﾛｰｽﾎﾟｯﾄ室 | | | ○冷専 | ○ | △ | | | | | | | | ｶﾞｽ消火 |

設備諸元表－5

排煙　●機械○自然△免除

| ゾーン | 階 | NO | 室名称 | 空調 | | | | | | | 衛生 | | | | | 消火 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 空調機系 | ファンコイル | 個別系 | 換気 | 排煙 | 専用換気 | 許容騒音値 | 給水 | 給湯 | 排水 | 特殊排水 | ガス | |
| 事務室 | 1 | C101 | 管理事務室 | | | ○ | ○ | ○ | | | | | | | | SP |
| | | C102 | 防災センター | | | ○ | ○ | ○ | | | | | | | | ｶﾞｽ消火 |
| | | C103 | 管理室 | | | ○ | ○ | ○ | | | | | | | | SP |
| | | C104 | 清掃員控室 | | ○ | | ○ | △ | | | | | | | | SP |
| | | C105 | WC | | | | ○ | △ | | | ○ | ○ | ○ | | | 消火栓 |
| | | C106 | 湯沸室 | | | | ○ | △ | | | ○ | ○ | ○ | | | 消火栓 |
| | | C107 | 生活情報ｾﾝﾀｰ | | ○ | | ○ | ○ | | | | | | | | SP |
| | | C108 | 更衣･ﾛｯｶｰ室 | | | | ○ | △ | | | | | | | | SP |
| | 2 | C109 | 応接室 | | ○ | | ○ | △ | | | | | | | | SP |
| | | C110 | 館長室 | | ○ | | ○ | ○ | | | | | | | | SP |
| | | C111 | 企画会議室1 | | ○ | | ○ | ○ | | | | | | | | SP |
| | | C112 | 企画会議室2 | | ○ | | ○ | ○ | | | | | | | | SP |
| | | C113 | 企画会議室3 | | ○ | | ○ | ○ | | | | | | | | SP |
| | | C114 | 芸術監督室 | | ○ | | ○ | ○ | | | | | | | | SP |
| | | C115 | WC | | | | ○ | △ | | | ○ | ○ | ○ | | | 消火栓 |
| | | C116 | 湯沸室 | | | | ○ | △ | | | ○ | ○ | ○ | | | 消火栓 |
| | | C117 | 備品庫 | | | | ○ | △ | | | | | | | | SP |
| レストラン | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 1 | C118 | レストラン | ○ | | | ○ | ○ | | | ○ | | ○ | | | SP |
| | | C119 | 厨房 | スポット | | | ○ | △ | | | ○ | ○ | ○ | | | ダクト消火 |
| | | C120 | WC | | | | ○ | △ | | | ○ | ○ | ○ | | | 消火栓 |
| | | C121 | 従業員WC | | | | ○ | △ | | | ○ | ○ | ○ | | | 消火栓 |
| | | C122 | 控室 | | ○ | | ○ | △ | | | | | | | | SP |
| | | C120 | 倉庫 | | | | ○ | △ | | | | | | | | SP |
| | | C121 | 食品庫 | | | ○ | ○ | △ | | | | | | | | SP |
| | | C122 | ゴミ置場 | | | ○冷専 | | △ | | | ○ | | ○ | | | SP |

設備諸元表－6

排煙　●機械○自然△免除

| ゾーン | 階 | NO | 室名称 | 空調 | | | | | | | 衛生 | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 空調機系 | ファンコイル | 個別系 | 換気 | 排煙 | 専用換気 | 許容騒音値 | 給水 | 給湯 | 排水 | 特殊排水 | ガス | 消火 |
| ｱｰﾄﾘｳﾋﾞﾝｸﾞ | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 1 | A101 | 展示ｷﾞｬﾗﾘｰ1 | ○ | | | | ○ | | | | | | | | SP |
| | | A102 | アトリウム | ○ | | | | ○ | | | | | | | | SP |
| | | A103 | 展示ｷﾞｬﾗﾘｰ2 | ○ | | | | ● | | | | | | | | ｶﾞｽ消火 |
| | | A104 | 便所 | | | | ○ | △ | | | ○ | ○ | ○ | | | 消火栓 |
| | | A105 | 倉庫 | | | | ○ | △ | | | | | | | | SP |
| | | A106 | 便所 | | | | ○ | △ | | | ○ | ○ | ○ | | | 消火栓 |
| | | A107 | 映像ホール | ○ | | | ○ | ● | | NC25 | | | | | | SP |
| | | A108 | 控室 | | ○ | | ○ | △ | | | ○ | | ○ | | | SP |
| | | A109 | 映写室 | | ○ | | ○ | △ | ○映写機 | | | | | | | SP |
| | 2 | A110 | 舞踊稽習室 | ○ | | | | ● | | NC25 | | | | | | SP |
| | | A111 | 備品庫 | | | | ○ | △ | | | ○ | | ○ | | | SP |
| | | A112 | 更衣室 | | | | | △ | | | ○ | ○ | ○ | | | SP |
| | | A113 | 更衣室 | | | | | △ | | | ○ | ○ | ○ | | | SP |
| | | A114 | シャワー室 | | | | ○ | △ | | | ○ | ○ | ○ | | | 消火栓 |
| | | A115 | 音楽室 | ○ | | | | ● | | NC20 | | | | | | SP |
| | | A116 | ピアノ庫 | | | 中温用除湿器 | | △ | | | | | | | | SP |
| | | A117 | 備品庫 | | | | ○ | △ | | | | | | | | SP |
| | | A118 | 美術工作室 | | ○ | | ○ | ○ | ○ | | ○ | ○ | ○ | ﾎﾟﾘﾀﾝｸ | ○ | SP |
| | | A119 | 準備室 | | ○ | | ○ | ○ | ○ | | ○ | | ○ | | | SP |
| | | A120 | 園芸倉庫 | | | | | ○ | | | | | | | | SP |
| | | A121 | 暗室 | | ○ | | ○ | ○ | | | ○ | ○ | ○ | ﾎﾟﾘﾀﾝｸ | | SP |
| | | A122 | ラウンジ | | ○ | | ○ | ○ | | | ○ | | ○ | | | SP |
| | | A123 | ポピュラー | ○ | | | | △ | | NC25 | | | | | | SP |
| | | A124 | ラウンジ | | ○ | | ○ | ○ | | | | | | | | SP |
| | | A125 | 調理実習室 | | ○ | | ○ | ○ | | | ○ | ○ | ○ | | ○ | SP |
| | | A126 | 備品庫 | | | | ○ | △ | | | | | | | | SP |

設備諸元表－7　　排煙　●機械○自然△免除

| ゾーン | 階 | NO | 室名称 | 空調 | | | | | | | 衛生 | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 空調機系 | ファンコイル | 個別系 | 換気 | 排煙 | 専用換気 | 許容騒音値 | 給水 | 給湯 | 排水 | 特殊排水 | ガス | 消火 |
| ｱｰﾄﾘﾋﾞﾝｸﾞ | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 2 | A127 | 講義室 | ○ | | | | ○ | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | SP |
| | | A128 | 創造スタッフ室 | | ○ | | ○ | △ | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | SP |
| | | A129 | パソコン室 | | | 冷暖自由 | ○ | △ | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | SP |
| | | A130 | 便所 | | | | ○ | △ | | | ○ | ○ | ○ | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | 消火栓 |
| | | A131 | キッチン | | ○ | | ○ | △ | | | ○ | ○ | ○ | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | SP |
| | | A132 | リフレッシュ | | ○ | | ○ | ○ | | | ○ | | ○ | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | SP |
| | | A133 | ブラウジング | | ○ | | | ○ | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | SP |
| | | A134 | 遊戯室 | | ○ | | | △ | | | ○ | ○ | ○ | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | SP |
| | | A135 | 書庫 | | | | ○ | △ | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | SP |
| | | A136 | ロビー、廊下 | ○ | | | | ○ | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | SP |
| | 3 | A137 | 洋会議室1 | | ○ | | ○ | ○ | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | SP |
| | | A138 | 洋会議室2 | | ○ | | ○ | ○ | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | SP |
| | | A139 | 洋会議室3 | | ○ | | ○ | ○ | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | SP |
| | | A140 | 洋会議室4 | | ○ | | ○ | ○ | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | SP |
| | | A141 | 和会議室1 | | ○ | | ○ | ○ | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | SP |
| | | A142 | 便所 | | | | ○ | △ | | | ○ | ○ | ○ | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | 消火栓 |
| 機械室 | 1 | M101 | 駐車場 | | | | ○ | ● | | | ○ | | ○ | ｶﾞｿﾘﾝﾄﾗｯﾌﾟ | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | 泡 |
| | | M102 | ・ファンルーム | | | | ○ | △ | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | 消火栓 |
| | B2 | M103 | 機械室1 | | | | ○ | △ | | | ○ | | ○ | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | 消火栓 |
| | | M104 | 機械室2 | | | | ○ | △ | | | ○ | | ○ | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | 消火栓 |
| | | M105 | 熱源機械室 | | | | ○ | △ | | | ○ | | ○ | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | ｶﾞｽ消火 |
| | | M106 | 電気室 | | | 冷専 | ○ | △ | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | ｶﾞｽ消火 |
| | | M107 | 発電気室 | | | | ○ | △ | | | ○ | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | ｶﾞｽ消火 |

# 4　昇降機設備計画

[計画概要]

(1) 設置数　3基

文化の家(仮称)には、大ホールエリアに1基、小ホールおよび事務・管理エリアに1基、アートリビングエリアに1基の計3基の昇降機を計画する。

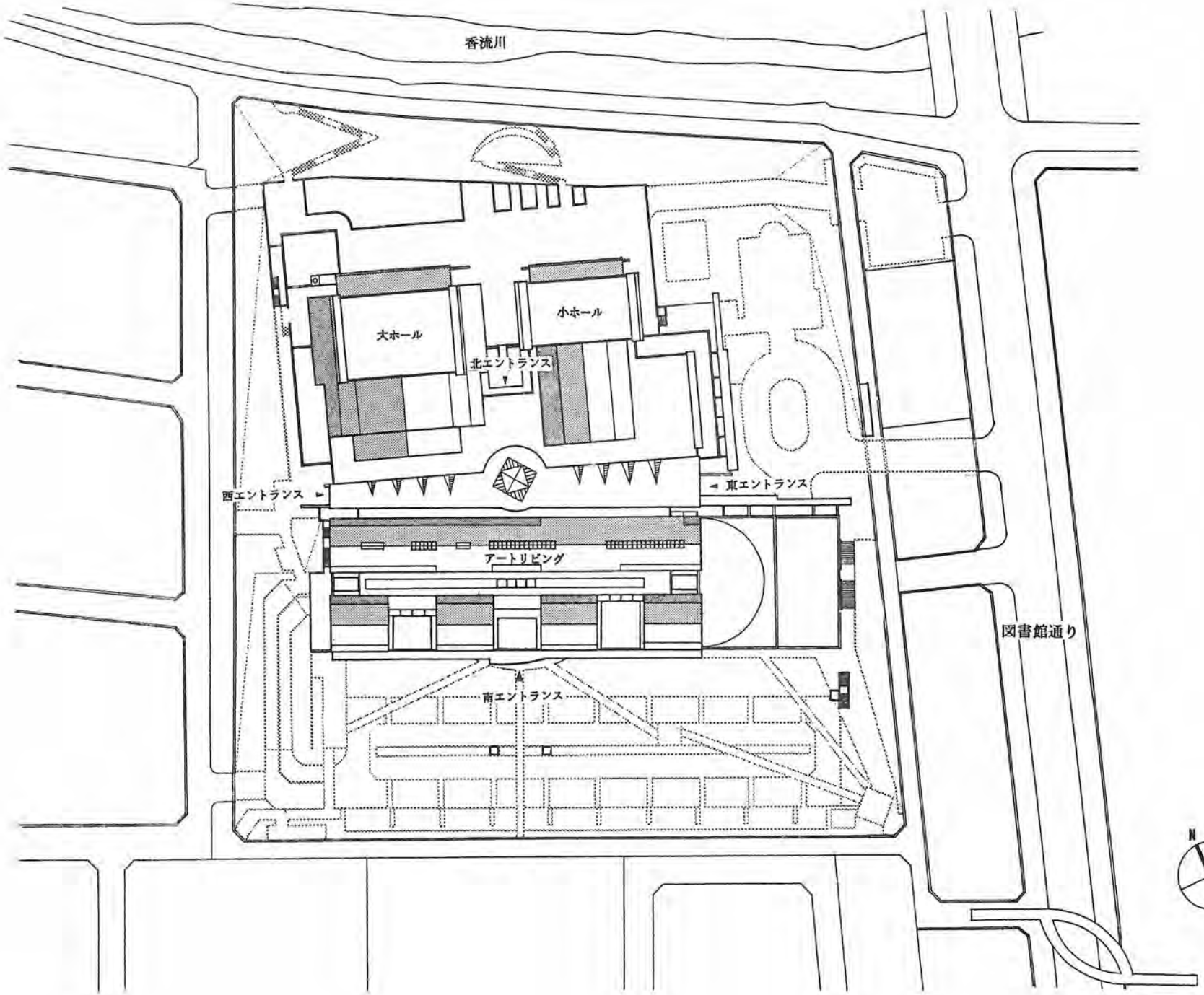
(2) 全ての昇降機は15人乗り45m/minの速度とし、身障者用の操作ボタン、手すり、鏡を設置する。

(3) それぞれの昇降機は、単独制御とする。

# 5　平面計画

添付図面のとおり

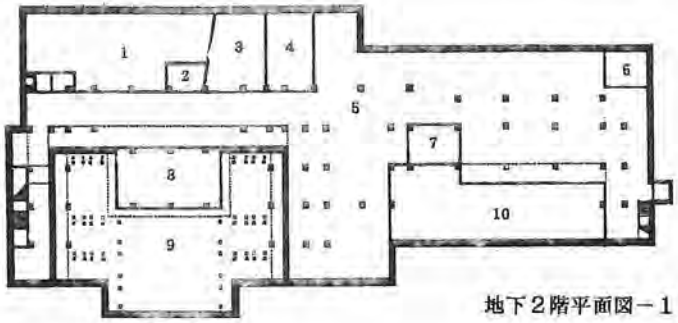
(1) 配置図
(2) 地下2階平面図
(3) 地下1階平面図
(4) 1階平面図
(5) 2階平面図
(6) 3階平面図
(7) 立面図・断面図
(8) 大ホールの空間形態ヴァリエーション
(9) 小ホールの空間形態ヴァリエーション




配置図

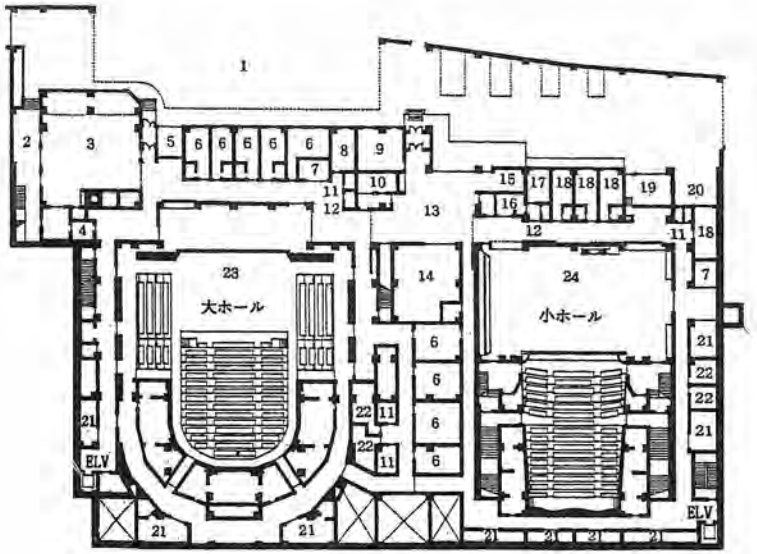
長久手町文化の家（仮称）

※ 室名は全て仮のものである。



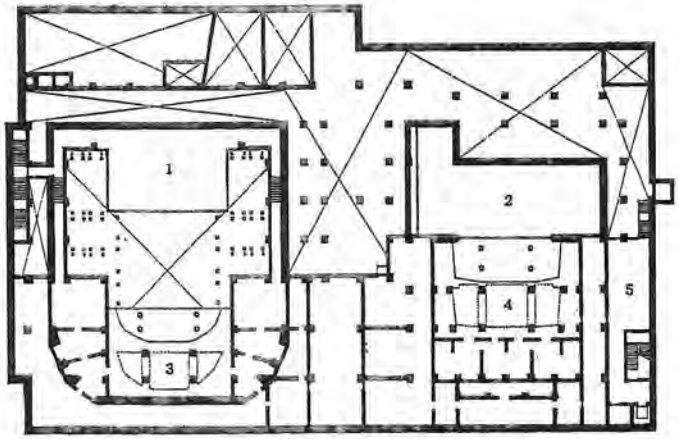
地下２階平面図－１

1　熱源機械室
2　ガスメーター室
3　発電気室
4　消火ポンプ室
5　空調機械室
6　機械搬入口
7　消火ポンペ室
8　舞台機構機械室
9　大ホールマシンピット
10　電気室




地下１階平面図

1　バックヤード
2　ドライエリア
3　作業場
4　洗濯室
5　大ホール搬入口
6　大ホール楽屋
7　ピアノ庫
8　大ホールスタッフ室
9　館外技術スタッフ室
10　大ホール楽屋事務室
11　ＷＣ
12　湯沸
13　共用搬入口
14　共用備品庫
15　休憩ラウンジ
16　小ホール楽屋事務室
17　小ホールスタッフ室
18　小ホール楽屋
19　小ホール搬入口
20　機械搬入口
21　備品庫
22　シャワー室
23　大ホール舞台
24　小ホール舞台

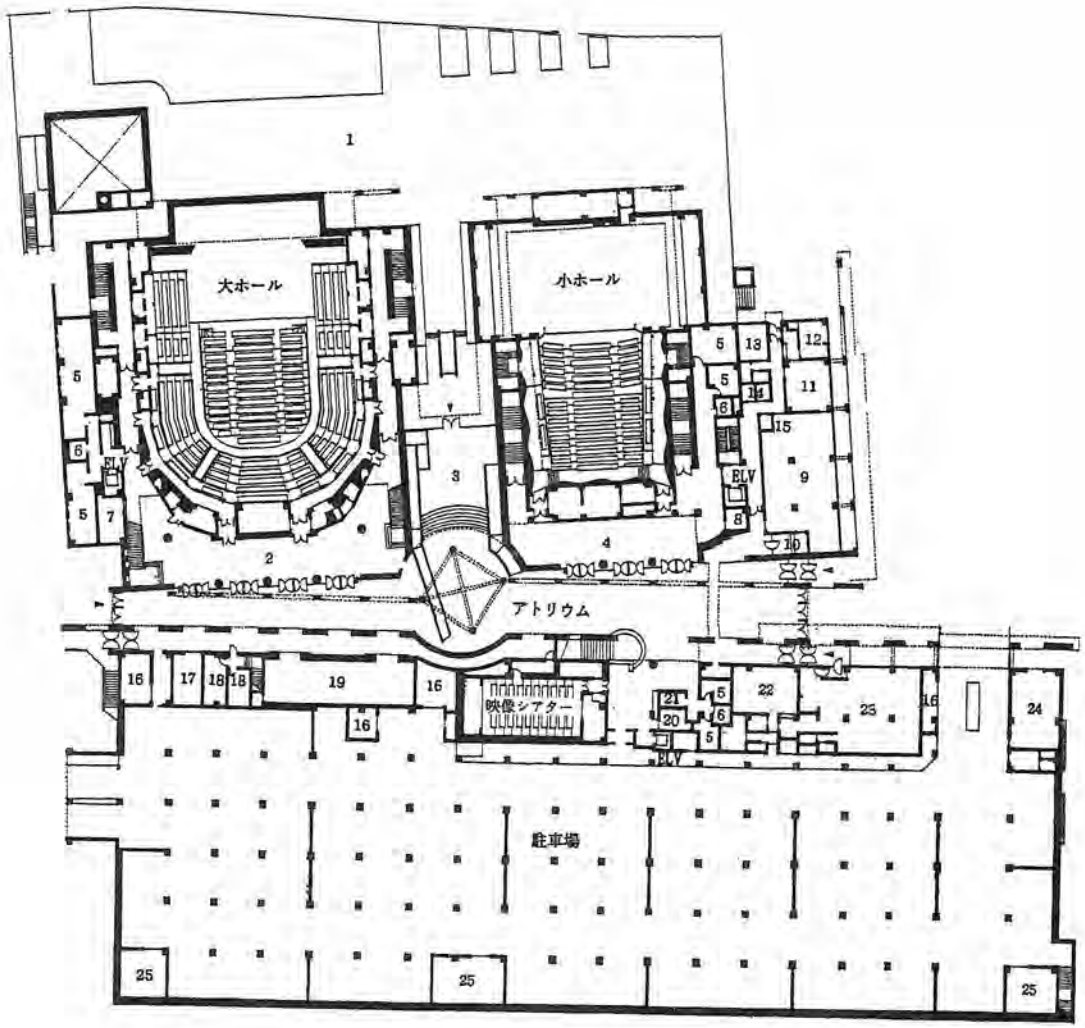


地下２階平面図－２

1　舞台床下（大ホール）
2　舞台床下（小ホール）
3　客席ワゴン収納庫（大ホール）
4　客席ワゴン収納庫（小ホール）
5　通路

長久手町文化の家（仮称）

※　室名は全て仮のものである。

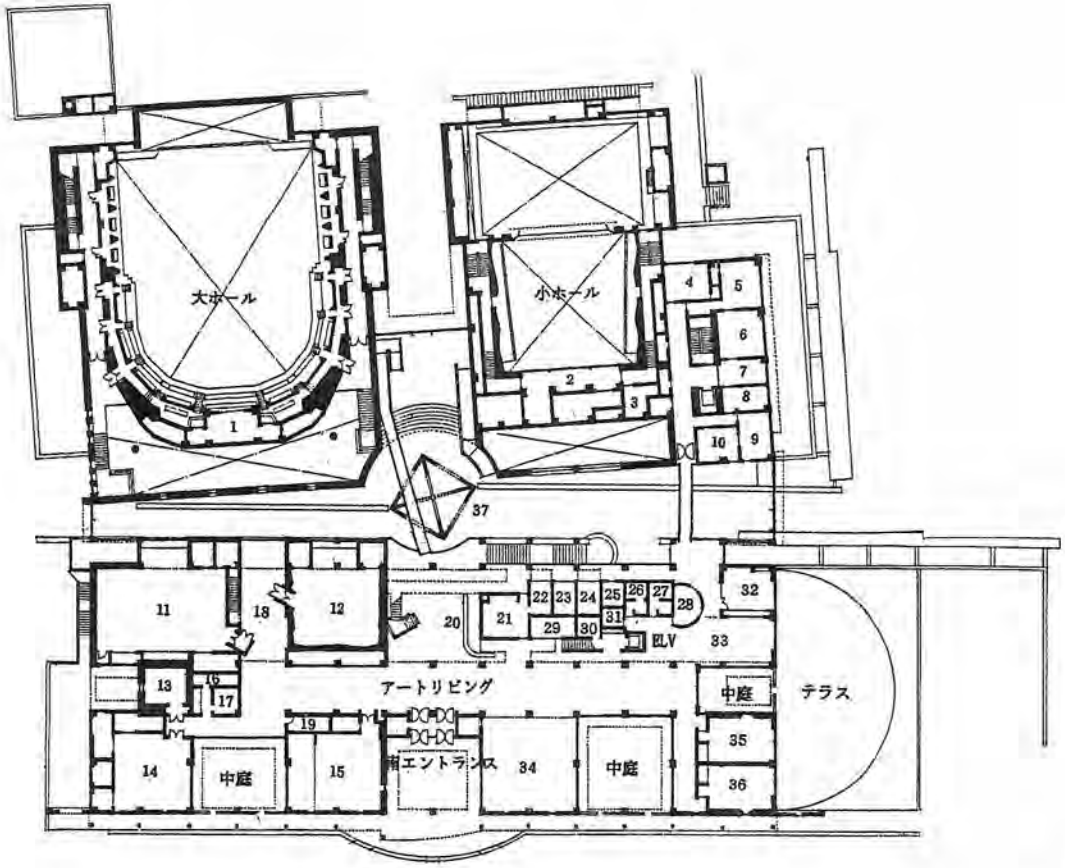



1階平面図

1 テラス
2 大ホールホワイエ
3 小ホールホワイエ
4 展示ギャラリー1
5 WC
6 身障者用WC
7 大ホール主催者事務室
8 小ホール主催者事務室
9 事務室
10 住民サービスセンター
11 防災センター
12 仮眠室
13 清掃員控室
14 更衣室
15 湯沸
16 空調機械室
17 備品庫
18 シャワー室
19 展示ギャラリー2
20 映像シアター主催者事務室
21 自販機コーナー
22 厨房
23 レストラン
24 駐輪場
25 ファンルーム

長久手町文化の家（仮称）

※ 室名は全て仮のものである。

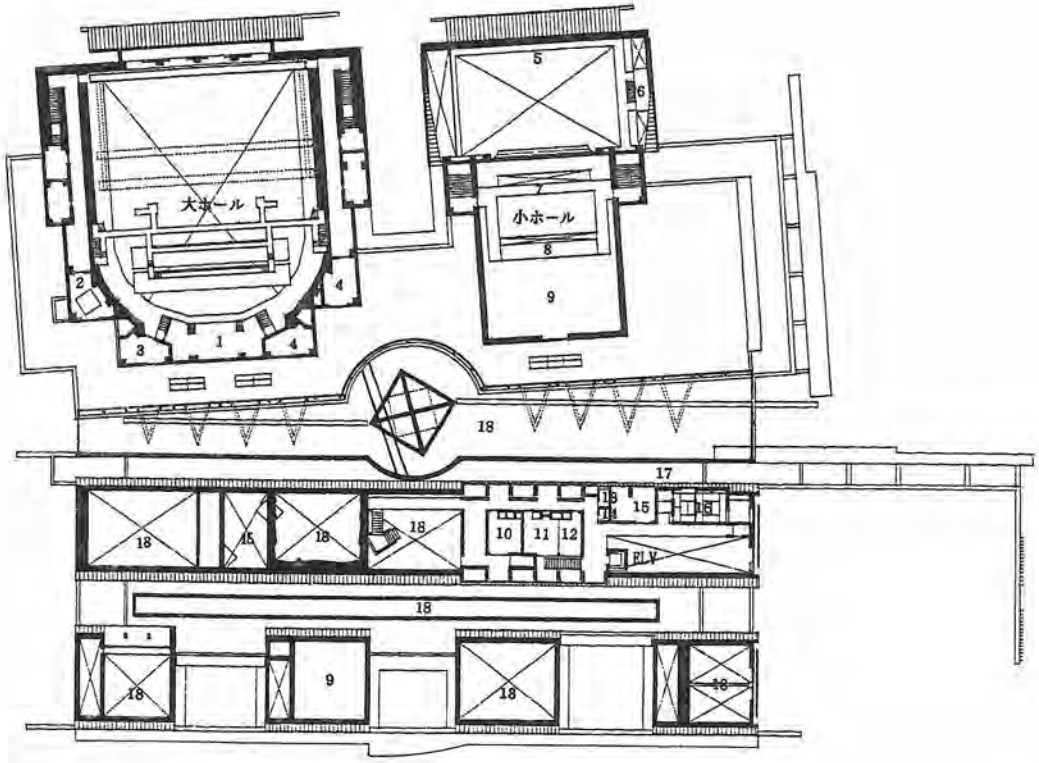



2階平面図

1 調光室
2 フォロースポット室
3 アンプ室
4 会議室A
5 会議室B
6 会議室C
7 受付
8 会議室D
9 会議室E
10 会議室F
11 舞踊室
12 音楽室
13 ポピュラー音楽室
14 美術室
15 調理室
16 WC
17 WC
18 ラウンジ
19 暗室
20 総合インフォメーション
21 創造スタッフ室
22 パソコン室
23 アトリエ1
24 アトリエ2
25 グループロッカー室
26 WC
27 WC
28 遊戯室
29 パソコン実習室
30 湯沸室
31 身障者用WC
32 生活工房
33 ラウンジ
34 情報資料室
35 講義室1
36 講義室2
37 アトリウム上部吹抜

長久手町文化の家（仮称）

※ 室名は全て仮のものである。

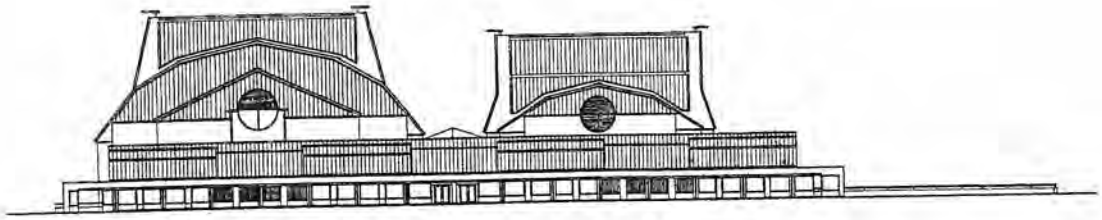



3階平面図

1 フォロースポット室
2 サブ変電室
3 調光機械室
4 空調機械室
5 第一ギャラリー
6 舞台機構機械室
7 ﾌﾟﾛｾﾆｱﾑｻｽﾍﾟﾝｼｮﾝ投光ｽﾍﾟｰｽ
8 ｼｰﾘﾝｸﾞ投光ｽﾍﾟｰｽ
9 天井裏
10 洋会議室1
11 洋会議室2
12 洋会議室3
13 WC
14 WC
15 空調機械室
16 和会議室
17 水屋
18 吹抜

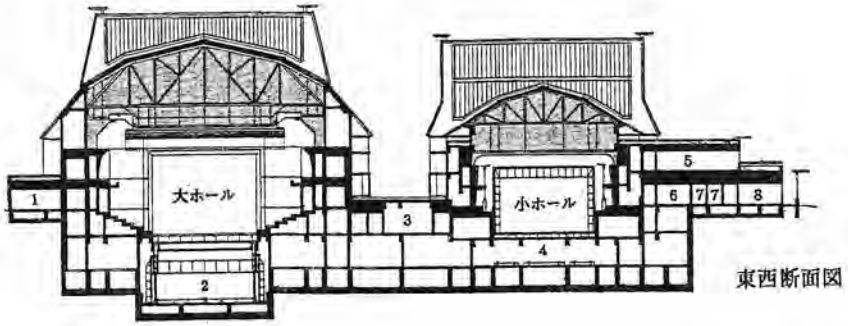
長久手町文化の家（仮称）

※ 室名は全て仮のものである。



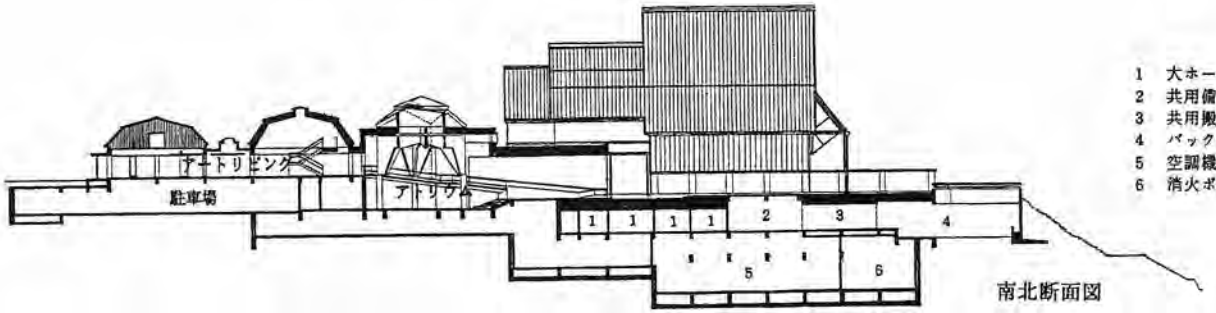
南立面図

東立面図




東西断面図

1　WC
2　（大ホール）マシンピット
3　共用備品庫
4　客席ワゴン収納庫（小ホール）
5　会議室B
6　WC
7　更衣室
8　防災センター




南北断面図

1　大ホール楽屋
2　共用備品庫
3　共用搬入口
4　バックヤード
5　空調機械室
6　消火ポンプ室

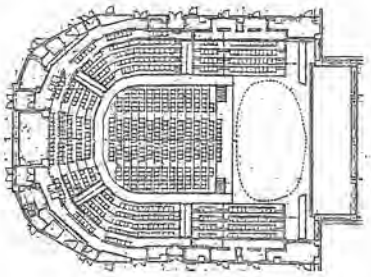
長久手町文化の家（仮称）

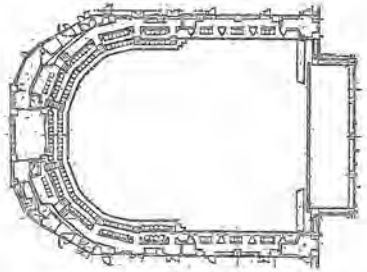
※　室名は全て仮のものである。

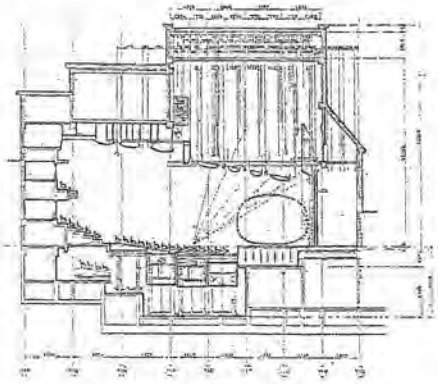
長久手町文化の家（仮称）

□大ホールの空間形態ヴァリエーション

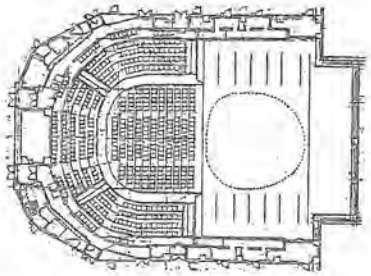
Ⅰ．オーケストラ・コンサートステージ形式

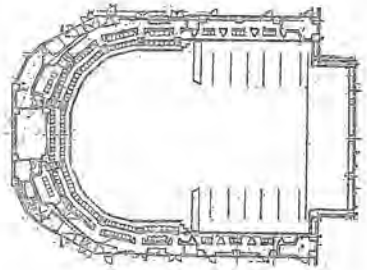


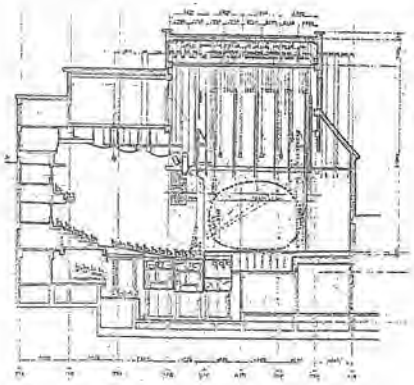




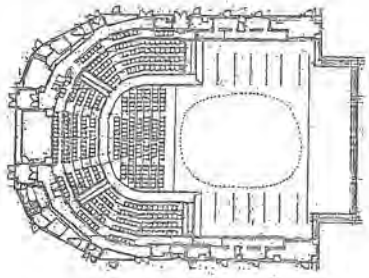
Ⅱ．プロセニアム・ステージ形式

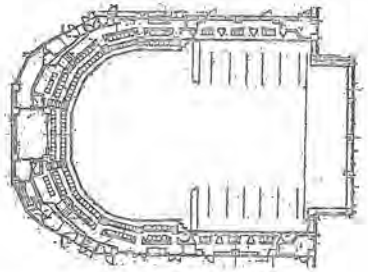


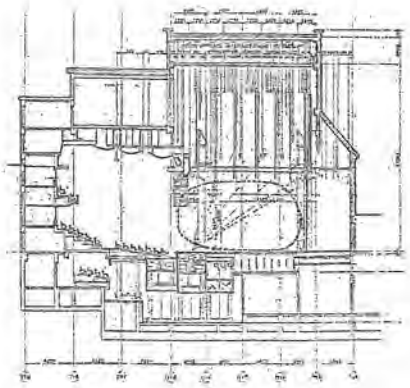




Ⅲ．スラスト・ステージ形式

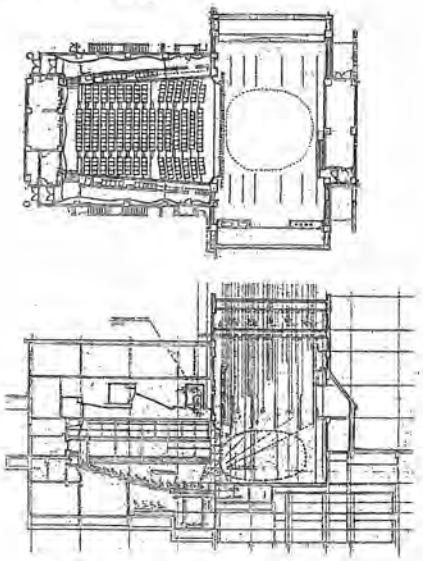




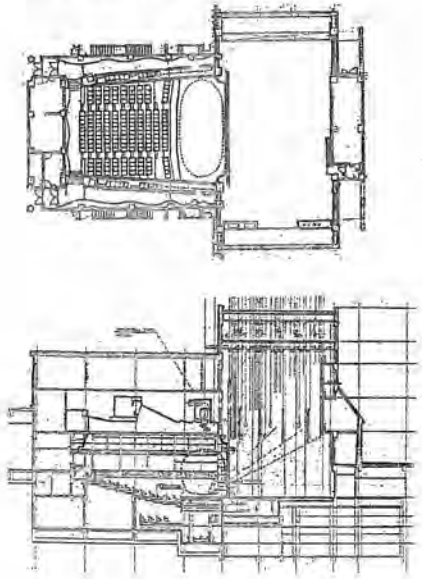


## □小ホールの空間形態ヴァリエーション

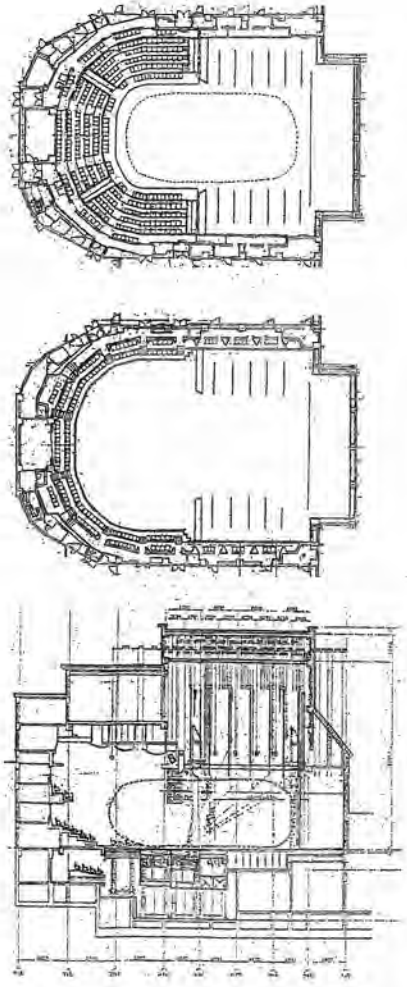
### Ⅰ．プロセニアム・ステージ形式



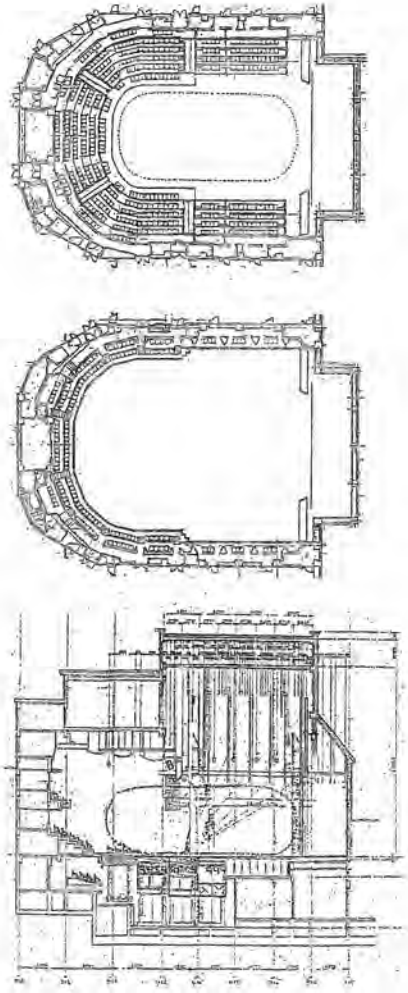
### Ⅱ．小コンサート・ステージ形式



### Ⅳ．アリーナ・ステージ形式



### Ⅴ．オープン・ステージ形式



# 《参　考》

## 長久手町文化の家(仮称)整備建設事業の推進経過および関連事業の実施記録

平成３年度

４年３月　・事業決定
第３次長久手町総合計画 平成４～６年度 実施計画のうちIII『いきいきとしたふれあいの地域づくり』の事業として位置付ける。

４年３月26日　・長久手町文化会館建設基金の設置及び管理に関する条例の設置

平成４年度

４年４月１日　・同上条例施行
・教育委員会社会教育課に文化担当を設置

４月28日　・長久手町総合文化会館(仮称)設立検討委員会設置　～H5.3.31
委員長　助役
委　員　町議会議長以下10名
会　議　８回（うち、１回の県外研修を含む）

５年３月31日　・『総合文化会館(仮称)設立調査検討報告書』答申される
建設予定地について、長湫中部土地区画整理組合地内の学校予定地を候補地に選定

平成５年度

５年４月20日　・町議会全員協議会において同上報告書について説明する。

４月20日　・総合文化会館(仮称)建設予定候補地を長湫中部土地区画整理組合地内学校予定地に決定

４月21日　・建設予定候補地の発表(関係団体、機関、報道関係者等)

６年１月18日　・建設予定候補地への進入路用地の購入　192.78㎡

２月23日　・土地区画整理法第39条第１項の規定に基づき、長湫中部土地区画整理組合地内の学校予定地を文化施設用地に事業変更する。（２月23日付け、愛知県広報第783号にて公告）
・建設予定地の決定

平成６年度

６年４月１日　・総務部に文化会館建設事務局を設置

４月21日　・建設予定地への進入路用地の購入　226.00㎡

７月２日　・長久手町文化施設建設構想委員会設置　～H6.12.21
座　長　柳澤　忠
委　員　町議会議長以下16名
会　議　委員会・・・・・・・・・・６回
ワーキンググループ会議・・７回
ワーキングスタディ・・・・５回

８月２日　・第１回長久手町文化サロン
ショートレクチャー２題
「世界のホール日本のホール－最近の実例から－」
名古屋大学助教授　清水裕之
「ヨーロッパの芸術文化活動－舞台裏からの報告－」
愛知県立芸術大学助教授　大下久見子

8月2日　・第1回ご意見を聞く会
11月2日　・建設予定地への進入路用地の購入　151.69㎡
11月19日　・第2回長久手町文化サロン
ショートレクチャー2題
「地域文化のメディア」
ＣＢＣテレビ映画社社長・日本福祉大学講師　小川辰男
「フランスにおける劇場建築と町づくり」
中京大学教授　安藤隆之
11月19日　・第2回ご意見を聞く会
12月1日　・長久手町文化施設基本構想についての報告まとまる
12月1日　・町議会全員協議会にて、仮称文化の家基本構想(校本)について説明
12月9日　・第3回長久手町文化サロン
愛知県立芸術大学大学院オペラ公演鑑賞2題
「オペラを作ろう《小さな煙突掃除屋さん》」Ｂ・ブリテン作曲
「アマールと夜の訪問者」Ｇ.Ｃ.メノッティ作曲
12月14日　・建設予定地への進入路用地の購入　417.56㎡
12月21日　・『長久手町文化施設基本構想についての報告書』答申される
7年1月9日　・長久手町文化の家(仮称)建築設計者選定については、委員会の意向を尊重し、プロポーザル方式導入を決定
1月12日　・長久手町文化の家(仮称)設計者選定委員会設置
委員長　柳澤　忠
委　員　町議会議長以下8名
会　議　4回（うち、審査会を含む）
2月1日　・建築設計プロポーザル開始　　3月30日審査終了、町長報告
2月9日　・第4回長久手町文化サロン
クラシック音楽鑑賞
「新春コンサート―弦楽四重奏の集い―」
ベートーヴェンの弦楽四重奏曲、ラヴェルの弦楽四重奏曲
愛知県立芸術大学音楽学部学生
2月9日　・『長久手町文化施設基本構想についての報告書』説明会
3月30日　・『長久手町文化の家(仮称)建築設計プロポーザル実施報告書』答申される
3月30日　・長久手町文化の家(仮称)建築設計者決定

平成7年度

7年4月1日　・建築設計プロポーザルの結果及び建築設計者を発表
設計者：有限会社 環境造形研究所
・基本設計着手
4月3日　・長久手町文化の家(仮称)建設・運営委員会設置（現在継続中）
委員長　清水裕之
議　長　内山千吉
委　員　町議会議長以下10名
会　議　現在までに8回開催
ワーキンググループ会議　12回
※　委員会のサブ組織としてワーキングを担当するグループ
4月15日　・第5回長久手町文化サロン

愛知県美術館の美術展鑑賞と記念公演
「世紀末に花開いた日本趣味－ウィーンのジャポニスムー」展
記念公演：三重大学助教授　稲賀繁美

5月1日　・長久手町文化サロン企画懇話会設置
＊「広報ながくて」4月号にて公募、15名を委嘱。現在継続中）
座　　長　水野美代子
座長代行　飯島宏子
委　　員　秋谷純子以下13名
会　　議　5回
研 修 会　2回

5月2日～　・長久手町文化の家(仮称)建築設計プロポーザル公開展示（図書館ギャラリースペース。14日まで13日間）

5月9日　・議会に、「仮称文化の家調査特別委員会」が設置される。
委 員 長　鈴木時雄議員
副委員長　川上孝一議員
委　　員　大島令子議員以下6議員
会　　議　3回(9月30日までの間に)
研 修 会　1回

5月27日　・第6回長久手町文化サロン
民族音楽鑑賞
「大草原の蒼い風コンサートー馬頭琴の調べをあなたにー」
中華人民共和国馬頭琴国家演奏家　李波(リポー)

7月20日　・基本設計完了

7月31日　・建設予定地への進入路用地の購入　465.38㎡

8月1日　・実施設計着手

8月31日　・「魅力ある愛知づくり」補助事業にかかる計画書提出
同上計画書の最終申請は9月18日
＊審査会ヒアリング‥11月1日
＊選定通知‥‥‥‥‥‥11月22日付け

9月1日～　・基本設計図面等公開展示（図書館ギャラリースペース。10日までの10日間）

9月30日　・『長久手町文化の家(仮称)建設のためのハード面の基本的整備概要』まとまる

# 長久手町文化の家(仮称)設計者選定委員会設置要綱

（設　置）

第１　長久手町文化施設「(仮称)長久手町文化の家」の設計について、長久手町と共同して、本施設の設置目的に最もふさわしい設計を行い得る設計者を選定するため、長久手町文化の家(仮称)設計者選定委員会（以下、「委員会」という。）を置く。

（組　織）

第２　委員会は、審査委員と専門委員とをもって組織する。

（委　員）

第３　委員は、次の各号に掲げる者のうちから、町長が委嘱する。

(1)　建築設計等に関する学識者

(2)　町民の代表

(3)　その他町長が適当と認めた者

（委員長）

第４　委員会に委員長を置き、委員長は審査委員の互選による。

２　委員長は、会務を総理する。

３　委員長に事故あるときは、あらかじめその指名する審査委員がその職務を代理する。

（審査委員の職務）

第５　審査委員は、次の各号に掲げる事項について審議する。

(1)　プロポーザル参加要領の審査

(2)　プロポーザル評価方法および評価基準の決定

(3)　適格設計者の決定

(4)　その他委員長が必要と認めた事項

前項に係る決定、選定は、審査委員の合意又は投票によるものとする。

（専門委員の職務）

第６　専門委員は、委員長のもとめに応じて、専門的立場から意見を述べることができる。

２　専門委員は、審査委員の職務に係る一切の権限を有しない。

（会　議）

第７　委員会は委員長が招集し、議長となる。

２　委員会は、建築設計等に関する学識者審査員の過半数の出席がなければ開くことができない。

３　委員会の会議は非公開とする。

（審査結果）

第８　委員会は、審査結果を町長に答申する。

（選定者等への通知）

第９　委員会は、設計者を決定したときは、その旨を書面により当該設計者に通知する。

委員会は、非選定者に対し、その旨を書面により通知する。

（事務局）

第10　委員会の庶務は、長久手町総務部文化会館建設事務局において処理する。

（雑　則）

題11　この要綱に定めるもののほか、委員会の運営に必要な事項は委員長が定める。

付　則

この要綱は、平成７年１月12日から施行する。

# 長久手町文化の家(仮称)設計者選定委員会委員名簿

## 審査委員

| | |
|---|---|
| 青山清治 | 長久手町文化協会会長 |
| 浅井鐵朗 | 長久手町総務部長 |
| 榎並邦夫 | 愛知県建築部技監 |
| 寺島康光 | 長久手町議会議長 |
| 林　英光 | 愛知県立芸術大学美術学部教授 |
| 藤川壽男 | 愛知工業大学教授 |
| 柳澤　忠 | 名古屋大学名誉教授 |

## 専門委員

| | |
|---|---|
| 内山千吉 | 舞台美術家 |
| 清水裕之 | 名古屋大学工学部助教授 |

注) i 委嘱および任命期間：平成7年1月12日から同3月30日まで。
ii 職名等は、委嘱期間中の現職名。
iii 50音順、敬称略。

# 長久手町文化サロン企画懇話会設置要綱

（設　置）
第１　長久手町文化事業「文化サロン」の実施に当たり、町民の多様な文化ニーズに応え得る企画を考案するため、町民による協議機関として長久手町文化サロン企画懇話会（以下、「企画懇話会」という。）を置く。

（委　員）
第２　委員は、次の各号に掲げる者のうちから、町長が委嘱する。
(1)　町内に住所を有する満18歳以上の町民で、広く文化、芸術、創造活動に関心を持ち、熱意のある者。
　ただし、公職選挙法による公職者、町職員は除く。
(2)　その他、町長が適当と認めた者。
２　委員の数は15名までとする。

（座　長）
第３　懇話会に座長を置き、座長は委員の互選により選任する。
１　座長は、会務を総理する。
２　座長に事故あるときは、あらかじめその指名する委員がその職務を代理する。

（任　期）
第４　委員の任期は、委嘱の日から翌年３月31日までとする。ただし、再任は妨げない。

（職　務）
第５　懇話会は、次の各号に掲げる事項をその職務とする。
(1)　文化サロンの企画立案に関すること
(2)　町民の文化サロンに対する意見や要望など情報収集に関すること
(3)　その他、座長が必要と認めたこと

（会　議）
第６　会議は、座長が招集し、議長となる。
２　企画懇話会に、企画ごとの担当部会を置くことができる。

（顧　問）
第７　必要に応じて企画懇話会に顧問を置くことができる。
（事務局）
第８　企画懇話会の庶務は、長久手町総務部文化会館建設事務局において処理する。
（雑　則）
第９　この要綱に定めるもののほか、企画懇話会の運営に必要な事項は座長が定める。

付　則
この要綱は、平成７年５月１日から施行する。

# 長久手町文化サロン企画懇話会委員名簿

| | | | |
|---|---|---|---|
| 1 | 秋谷純子 | 長久手町民 | 平成７年４月の「広報ながくて」で一般公募 |
| 2 | 飯島宏子 | 長久手町民 | 同上 |
| 3 | 伊佐治美和子 | 長久手町民 | 同上 |
| 4 | 板谷麻生 | 長久手町民 | 同上 |
| 5 | 大滝啓子 | 長久手町民 | 同上 |
| 6 | 加藤美代子 | 長久手町民 | 同上 |
| 7 | 粂野信子 | 長久手町民 | 同上 |
| 8 | 榊原直美 | 長久手町民 | 同上 |
| 9 | 佐藤淳子 | 長久手町民 | 同上 |
| 10 | 野村光子 | 長久手町民 | 同上 |
| 11 | 福岡八重子 | 長久手町民 | 同上 |
| 12 | 福本和子 | 長久手町民 | 同上 |
| 13 | 松元佳代 | 長久手町民 | 同上 |
| 14 | 水野美代子 | 長久手町民 | 同上 |
| 15 | 山口節子 | 長久手町民 | 同上 |

50音順、敬称略

# 長久手町文化の家(仮称)建設・運営委員会設置要綱

制　定　平成7年4月3日
一部改正　平成7年6月26日

（設　置）
第1　長久手町文化の家(仮称)の建設に当たり、建設及び事業運営の推進に係る専門的機関として長久手町文化の家(仮称)建設・運営委員会（以下、「建設・運営委員会」という。）を置く。
（委　員）
第2　委員は、次の各号に掲げる者のうちから、町長が委嘱、任命する。
(1) 学識者
(2) 町民の代表者および町関係者
(3) その他町長が適当と認めた者
（委員長）
第3　委員会に委員長を置き、委員長は委員の互選により選任する。
2　委員長は、会務を総理する。
3　委員長に事故あるときは、あらかじめその指名する委員がその職務を代理する。
（任　期）
第4　委員の任期は、委嘱、任命の日から翌年3月31日までとする。ただし、再任は妨げない。
（職　務）
第5　委員会は、次の各号に掲げる事項をその職務とする。
(1) 長久手町文化の家(仮称)基本構想と設計との連続性の調整
(2) 専門的立場からの建築計画およびその技術に関する指導
(3) 施設運営および事業の展開計画に関する指導
(4) 行政上の調整および指導
(5) 利用上の調整および指導
(6) 長久手町文化の家(仮称)基本計画の作成
(7) 長久手町文化の家(仮称)設計にかかる技術設計協力者の選定
(8) その他、委員長が必要と認めた事項
2　前号に係る方針および内容の決定については、委員の合意によるものとする。
（会　議）
第6　委員会は委員長が招集し、議長が進行する。
2　委員会は、委員の過半数の出席がなければ開くことができない。
3　委員会の会議は原則として非公開とする。
（事務局）
第7　委員会の庶務は、長久手町総務部文化会館建設事務局において処理する。
（雑　則）
第8　この要綱に定めるもののほか、委員会の運営に必要な事項は委員長が定める。

別記

＜要綱第５第７項に関する任務＞

技術設計協力者の選定に関し、次の各号に掲げる事項について審議する。

1　技術プロポーザル実施要領の審査および決定
2　技術プロポーザル評価方法および評価基準の決定
3　技術プロポーザル参加者の審査および指名
4　適格設計協力者の決定
5　その他委員長が必要と認めた事項

以上にかかる決定および選定は、委員の合意又は投票によるものとする。

# 長久手町文化の家(仮称)建設・運営委員会における基本設計案の検討経緯

委員会開催と主な議題（4月～7月分のみ）

| | |
|---|---|
| 4月3日(月) | 長久手町文化の家(仮称)建設運営委員会設置および委員の委嘱 |
| 4月6日(木) | 第1回委員会 |
| | ・文化の家(仮称)建築設計プロポーザル実施報告について |
| | ・当選設計案の概略説明 |
| | ・当選設計案に対する意見交換 |
| 5月12日(金) | 第2回委員会 |
| | ・プロポーザル当選設計案に対する意見のまとめと確認について |
| 6月13日(火) | 第3回委員会 |
| | ・長久手町文化の家(仮称)基本設計案について |
| 6月26日(月) | 第4回委員会 |
| | ・基本設計案について |
| | ・舞台設備設計にかかる技術プロポーザル(実施要領)について |
| 7月11日(火) | 第5回委員会 |
| | ・舞台設備設計にかかる技術プロポーザル(審査)について |
| | ・長久手町文化の家(仮称)建築基本設計について |
| 7月25日(火) | 第6回委員会 |
| | ・長久手町文化の家(仮称)建築基本設計の完了について |
| | ・実施設計着手に向けての基本的方針と事務日程について |

基本設計にかかるワーキングの実施（4月～7月分のみ）

| | | |
|---|---|---|
| 4月7日(金) | 第1回ワーキング | 必要諸室と持たせる機能 |
| 4月14日(金) | 第2回ワーキング | 概略設計について枠組検討(延床面積設定) |
| 4月26日(金) | 第3回ワーキング | 諸室配置検討 |
| 5月2日(火) | 第4回ワーキング | 諸室配置検討 |
| 6月9日(金) | 第5回ワーキング | 外周および周辺環境への整合性の検討(道路、緑地等) |
| 7月3日(月) | 第6回ワーキング | 舞台機構検討 |
| 7月6日(金) | 第7回ワーキング | 舞台機構検討 |
| 7月11日(火) | 第8回ワーキング | 配置、平面計画の詰め、確認 |

基本設計・コンサル担当

| | |
|---|---|
| 事務所 | 有限会社 環境造形研究所 |
| 主　宰 | 東京大学工学部教授　香山壽夫 |
| 代表者 | 佐伯和俊 |
| 長久手町文化の家(仮称)設計担当 | 浜野次郎 |

# 長久手町文化の家(仮称)建設・運営委員会委員名簿

| | | |
|---|---|---|
| 1 | 青山清治 | 長久手町文化協会会長(H7/7/23まで) |
| 2 | 安藤隆之 | 中京大学文化科学研究所教授 |
| 3 | 市来邦比古 | 電気音響コーディネーター |
| 4 | 内山千吉 | 舞台美術家 |
| 5 | 大下久見子 | 愛知県立芸術大学音楽学部助教授・声楽家 |
| 6 | 加藤梅雄 | 長久手町助役(H7/6/30まで) |
| 7 | 川本保弘 | 長久手町建設部長(H7/9/30まで) |
| 8 | 佐藤壽晃 | 照明デザイナー |
| 9 | 清水裕之 | 名古屋大学工学部教授 |
| 10 | 橘　秀樹 | 東京大学生産技術研究所教授 |
| 11 | 寺島康光 | 長久手町議会議長(H7/4/30まで) |
| 12 | 林　英光 | 愛知県立芸術大学美術学部教授 |
| 13 | 福岡廉二 | 長久手町助役(H7/10/1から) |
| 14 | 三岡　太 | 長久手町議会議長(H7/5/8から) |
| 15 | 與語晴男 | 長久手町文化協会会長代行(H7/7/25から) |

50音順，敬称略

# 長久手町文化の家(仮称)建設のための
# ハード面の基本的整備概要

平成7(1995)年10月1日

編集　長久手町文化の家(仮称)建設・運営委員会

発行　長　久　手　町

愛知県愛知郡長久手町大字岩作字城の内60－1

事務局　長久手町総務部文化会館建設事務局

〒480－11 TEL.0561－63－1111　FAX.0561－63－2100